

HD NETWORK CAMERA

User Manual

はじめに	5
1. 概要	6
1. 製品説明	6
2. 操作環境	7
2. デバイス接続	8
3. デバイス設定ツールを使用してIPアドレスを設定しています	9
4. IEログイン	11
1. IPCウェブポートへのアクセス	11
2. 初回ログイン	11
3. 一般ログイン	13
4. パスワードの取得	14
1. セキュリティ質問の確認	14
2. キーファイル	15
3. スーパーパスワード	16
4. パスワードの期限切れ	16
5. プラグインのインストール	17
6. プレビュー	18
1. ライブ	18
2. 録音状況	20
7. 再生	21
1. 一般再生	21
2. 顔による再生検索	23
3. 人間と車両による再生検索	24
4. PIDとLOD	25
5. リピート顧客検出	26
6. フェイス出席	27
8. リモート設定	31
1. ライブ	31

2. 画像コントロール	32
3. ビデオカバー	34
4. のROI	35
5. レコード	36
1. エンコード	36
2. レコード	37
6. イベント	38
1. セットアップ	38
2. アラーム	40
7. AI.....	44
1. セットアップ	44
2. 認識	56
3. アラーム	57
4. 統計	62
8. ネットワーク	66
1. 一般	66
2. PPPoE.....	67
3. SNMP.....	68
4. ポート設定	69
2. メール設定	70
3. FTPサーバー設定	71
4. RTSP設定	72
5. DDNS設定	72
6. HTTPS設定	73
7. IPフィルター	74
9. カメラ管理	74
1. ディスク管理	74
2. オーディオ設定	75
3. クラウド	76
10. システム	77

1.	一般	77
1.	日付と時刻	77
2.	夏時間(DST)	78
2.	マルチユーザー管理	79
3.	システムメンテナンス	81
4.	システム情報	86
9.	ローカル設定	

はじめに

弊社ネットワークカメラをご利用いただき誠にありがとうございます。
高画質、AI機能を搭載したカメラは業務用のあらゆる現場での監視を可能にしました。
NVRのPoE機能はプラグインプレイに対応しており、LANケーブルを挿すだけで、容易な録画監視が可能です。

マニュアル:

- ※IPカメラの工場出荷時のデフォルトIPアドレスは192.168.1.168です。
- ※IPカメラの工場出荷時のデフォルト管理者ユーザー名はadmin(小文字)。
。パスワードはadmin(小文字)です。
- ※デフォルトのWebポート番号は80で、デフォルトのメディアポート番号は9000です。
。ONVIFポートはWebポートと同期しています

注意:

本マニュアルに含まれる情報の一部は、実際の製品と異なる場合があります。このマニュアルを使用して解決できない問題がある場合は、弊社サポートダイヤルにお問い合わせください。本マニュアルは事前の通知なしに変更される場合があります。

1. 概要



1.1 製品説明

本製品はWebサーバーを内蔵し、独立して動作できるデジタルオンライン監視カメラであり、ユーザーは世界中のどこからでもWebブラウザやクライアントソフトウェアを通じてリアルタイムにアクセスできます。

IPカメラは、音声や映像の取得、圧縮、ネットワーク電送のための統合メディア処理プラットフォームに基づく最新のデジタルソリューションです。これはH.264/H265ハイプロファイルエンコーディング標準に準拠しています。リモートユーザーは、WebブラウザにIPカメラのIPアドレスまたはドメイン名を入力することでリアルタイム監視にアクセスできます。

IPカメラ製品は、ビジネス環境やリモートネットワークビデオ監視および伝送を必要とするさまざまな状況において簡単に設置および操作できます。

IPカメラは、異なる権限レベルを持つ複数のユーザーによって管理できます。

IPカメラはモバイル検知を可能にし、緊急時にはメールを送信し、スナップショットを撮影し、画像やビデオスナップショットをSDカードに保存して取得できます。

1.3 操作環境

オペレーティングシステム: Windows7、Windows8、Windows2008(32/64ビット)、Windows2003

Windows XP、Windows 2000(32ビット)

CPU: インテルコアデュオII デュアルコアプロセッサ以上

メモリ: 1G以上

ビデオメモリ: 256M以上

ディスプレイ: 1024 × 768以上の解像度

ブラウザ: IE 10以上のバージョン

2. デバイス接続

IPカメラは2つの方法で接続できます:

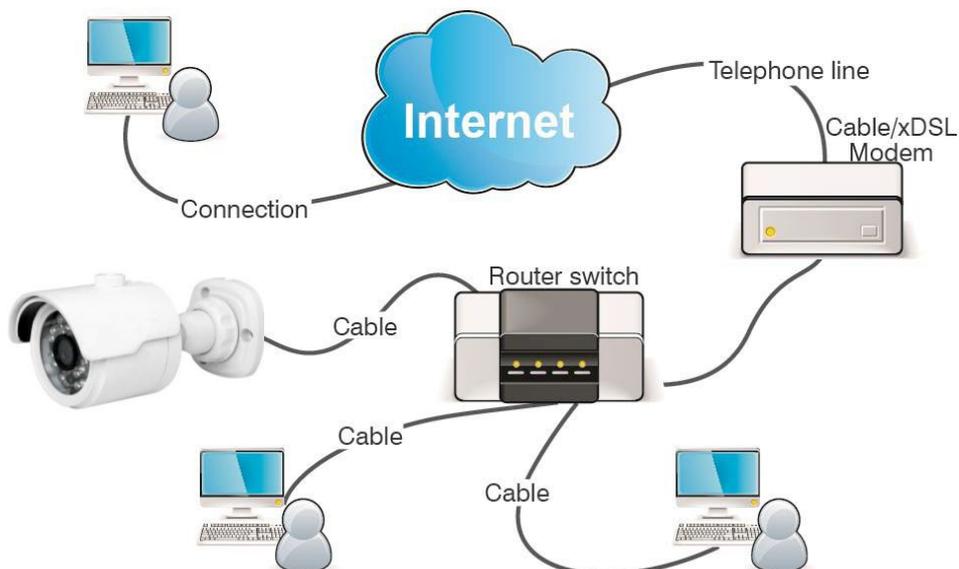
1. PCへの接続

IPカメラをPCにストレートスルーのLANケーブルで接続し、DC12Vのアダプタにします。PCとIPカメラのIPアドレスを同じネットワークセグメントに設定します。ネットワークが正常に動作していれば、IPカメラは電源を入れてから1分以内にPCと通信を開始します。



2. ルーター/スイッチへの接続

IPカメラをインターネットに接続する際に一般的に使用される方法で、カメラとPCがルーター/スイッチのLANポートに接続され、カメラのゲートウェイがルーターのIPアドレスに設定されます。

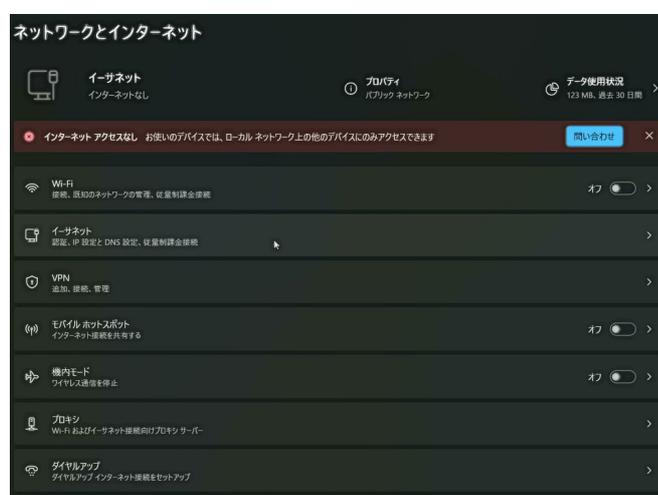


3. デバイス設定ツール(VMS。Pro)を使用してIPアドレスを設定しています

インターネット上で互いに通信するデバイスは、ネットワークプロトコルの制約に従う必要があります。例えば、PCとIPCが同じローカルエリアネットワークにあり、IPカメラの設定したIPアドレスがPCのIPアドレスと同じネットワークセグメントにある必要があります。工場出荷時のカメラの例は以下の通りです。

現在のネットワークの基本設定情報を取得します。PCでネットワークを開き、ネットワークとインターネットの設定を開き、ネットワーク共有センター、イーサネット、詳細を開いて現在のネットワークの設定情報を確認します。

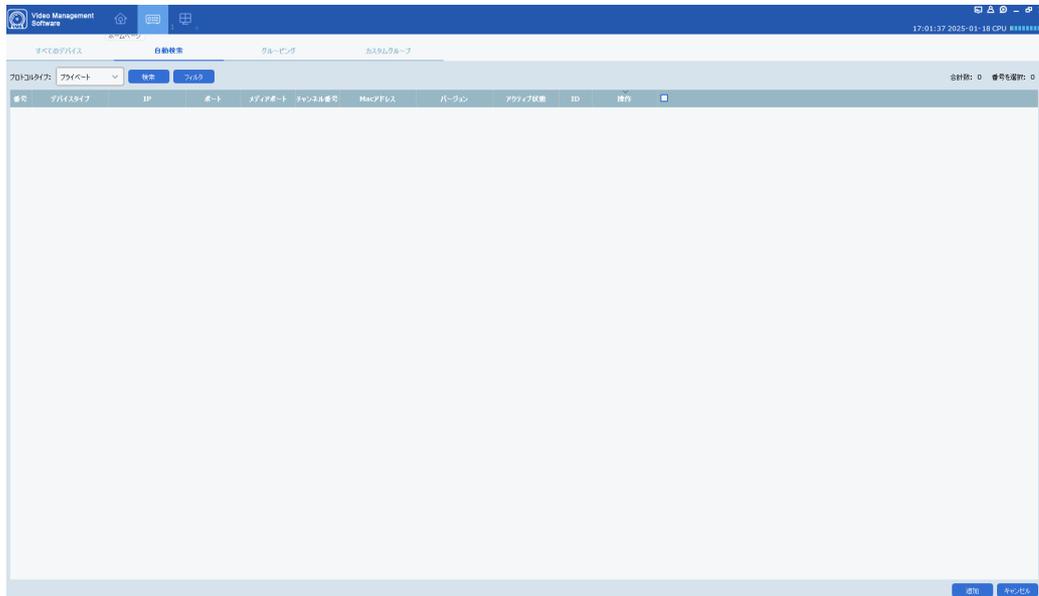
Windows11例



ステップ2: VMS。Proを実行します

プロトコルタイプ: 検索をクリックしてIPC情報を取得ます

IPカメラはP2PまたはMacアドレスに従って位置を特定できます。



注意: カメラのデフォルトIPは192.168.1.168です。
デフォルトアカウントはadmin、デフォルトパスワードはadminです

ステップ3: 検索 で表示されたIPカメラを選択し、アカウントとパスワードを入力、対応するネットワーク情報を編集して、変更をクリックして情報を保存します。

4. IEログイン

1. IPCウェブポートへのアクセス

デバイス設定ツールを使用して、現在のネットワークのIPCを検索します。検索されたIPをクリックし、図4.1.1に示すようにIEブラウザでカメラにログインします。

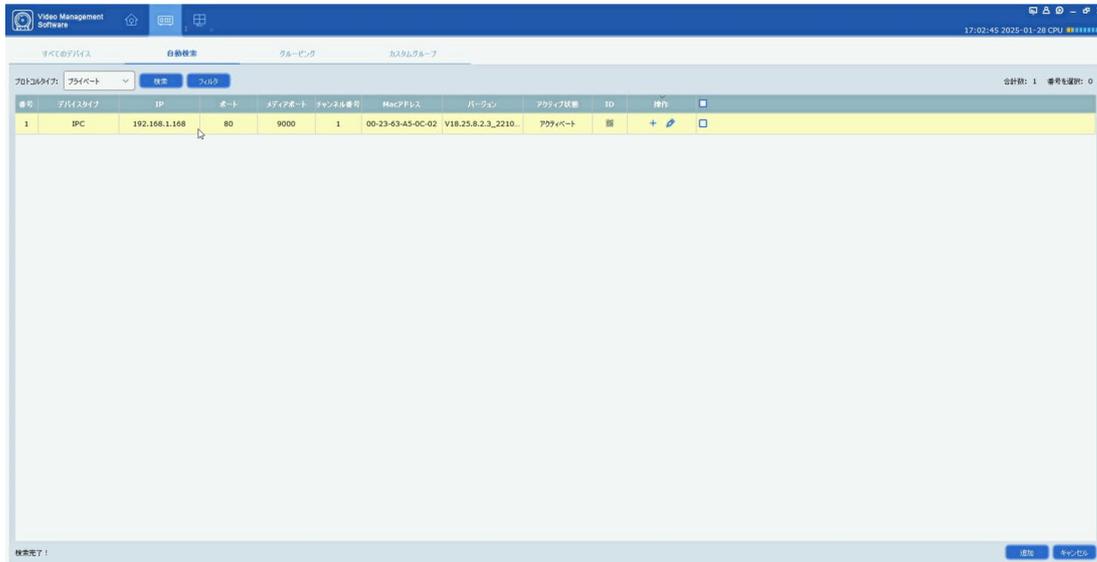


図4.1.1

IEブラウザを直接開き、`HTTP://ip.web port`を入力することもできます。図4.1.1に示されているデバイスを例にとると、アクセスする現在のデバイスのIPは192.168.1.163で、ウェブポートは80で、組み合わせたURLは<http://192.168.1.163:80>です。

注意: 実際の使用シナリオでは、`http`アクセス方法はデフォルトでポート80になります。

4.2 ログイン

カメラのウェブに初めてアクセスする際、プログラムはデバイスのデフォルトパスワードが簡単すぎるため、より複雑なパスワードを設定するように促します。

パスワードは8~15文字で、文字、数字、または特殊文字を含む必要があります。

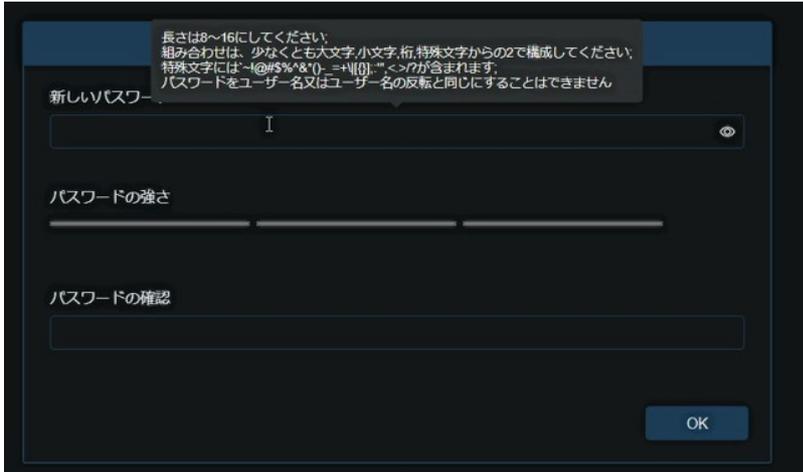
1.8~9文字: 組み合わせは少なくとも3つの大文字を含む必要があります。

小文字、数字または特殊文字

2. 10~15文字: 組み合わせは少なくとも2つの大文字、小文字、数字または特殊文字を含む必要があります。

3. 4桁を超える連続した文字の繰り返しは禁止されています。

4. キーボードの連続したキーのパターンが4桁を超えることは禁止されています。



新しいパスワード

パスワードの強さ

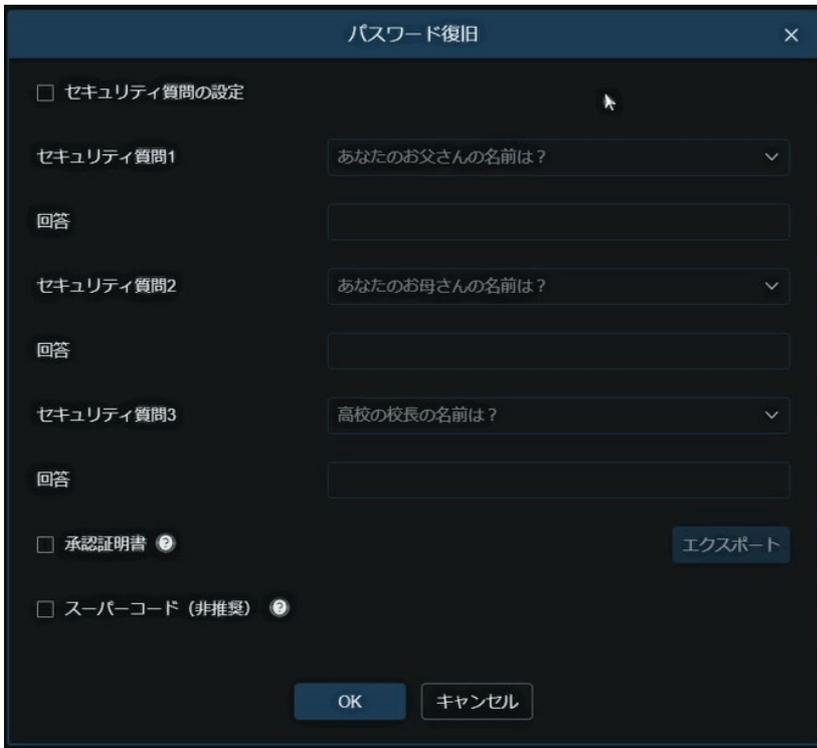
パスワードの確認

OK

長さは8~16にしてください。
組み合わせは、少なくとも大文字、小文字、桁、特殊文字からの2で構成してください。
特殊文字には~!@#\$%^&*()-+=+{}|[];':",.<>?が含まれます;
パスワードをユーザー名又はユーザー名の反転と同じにすることはできません

図4.2.1

新しいパスワードを設定し、OKをクリックして保存すると、図4.2.2のようなインターフェースがポップアップします。対応するパスワード回復方法を選択するか、チェックせずに設定をキャンセルすることができます。そうすれば、パスワード回復機能は有効になりません。



パスワード復旧

セキュリティ質問の設定

セキュリティ質問1: あなたのお父さんの名前は?

回答

セキュリティ質問2: あなたのお母さんの名前は?

回答

セキュリティ質問3: 高校の校長の名前は?

回答

承認証明書  エクスポート

スーパーコード (非推奨) 

OK キャンセル

図 4.2.2

①セキュリティ質問の設定：質問確認によってメインユーザーのパスワードを変更します。有効にした後、15のよく使われる質問の中から3つを選択し、パスワードを回復するために必要な回答を設定する必要があります。回答の最大長は64文字です。

②認証証明書：キーによってメインユーザーのパスワードを変更します。有効にした後、エクスポートをクリックして、`certificate.txt`という名前のキーファイルをダウンロードする必要があります。

③スーパーコード（推奨しません）：スーパー検証コードを使用してメインユーザーのパスワードを変更します。スーパー検証コードは、現在のカメラのMacアドレスとカメラのシステム時間を基に計算され、メインユーザーのパスワードを変更するために使用されます。しかし、カメラのMacはネットワーク上でブロードキャストされ、カメラのシステム時間はWebにログインしてスーパーコードを使用してメインユーザーのパスワードを変更する際に直接取得できません。特定のセキュリティリスクがあるため、ユーザーがこれをオンにすることは推奨されません。

注意：パスワード回復機能を有効にする際は、検証情報を適切に保管してください。

4.3 一般ログイン

カメラのWebインターフェースにアクセスするには、図に示されているようにログインインターフェースに入ります。

4.3.1. 対応するアカウントのパスワードを入力し、ログインをクリックすると、カメラの操作インターフェースにアクセスできます。同時に、ログイン時に希望する言語を選択することもできます。



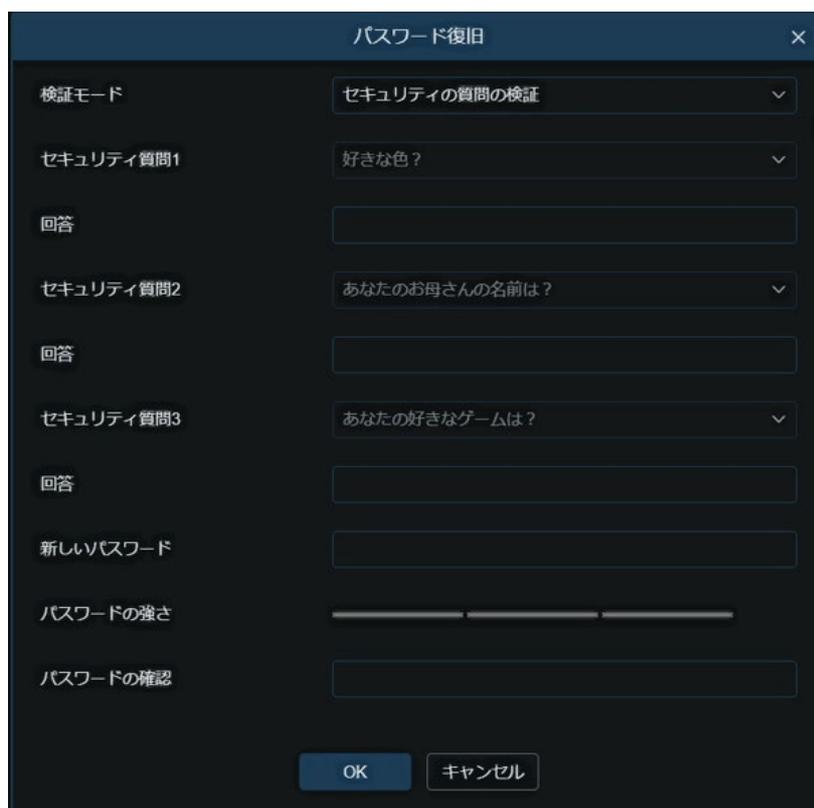
図4.3.1

4.4 パスワードの取得

ログイン情報を忘れた場合は、ログインインターフェースで「パスワードを回復」をクリックして、パスワード回収インターフェースに入ることができます。初回ログイン設定に従い、セキュリティ質問の確認、キーファイル、スーパーパスワードの3つのモードをサポートしています。

4.4.1 セキュリティ質問の確認

セキュリティ質問を通じてメインユーザーパスワードをリセットし、パスワード回収インターフェースを開きます。図4.4.1に示すように、デフォルトのインターフェースは問題確認を通じてパスワードを回収するものです。セキュリティ質問に対応する答えを入力すると、現在のメインユーザーのパスワードを直接変更できます。



The screenshot shows a dark-themed dialog box titled "パスワード復旧" (Password Recovery) with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains the following fields and controls:

- 検証モード** (Verification Mode): A dropdown menu set to "セキュリティの質問の検証" (Verify security questions).
- セキュリティ質問1** (Security Question 1): A dropdown menu set to "好きな色?" (Favorite color?).
- 回答** (Answer): A text input field for the answer to the first question.
- セキュリティ質問2** (Security Question 2): A dropdown menu set to "あなたのお母さんの名前は?" (What is your mother's name?).
- 回答** (Answer): A text input field for the answer to the second question.
- セキュリティ質問3** (Security Question 3): A dropdown menu set to "あなたの好きなゲームは?" (What is your favorite game?).
- 回答** (Answer): A text input field for the answer to the third question.
- 新しいパスワード** (New Password): A text input field for the new password.
- パスワードの強さ** (Password Strength): A progress bar indicating the strength of the new password.
- パスワードの確認** (Confirm Password): A text input field for re-entering the new password.
- At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

図4.4.1

4.4.2 キーファイル

初回ログイン時にパスワード認証質問を設定すると、キーワード検索とパスワード変更機能をオンにし、**key file certificate.txt**をダウンロードするように促すことができます。

パスワード回復インターフェースを開き、認証証明書モードに切り替えると、インターフェースが図4.4.2のように変わります。インポートをクリックして、**key file certificate.txt**を選択します。インポートが成功したら、新しいパスワードを入力してメインユーザーのパスワードを変更します。



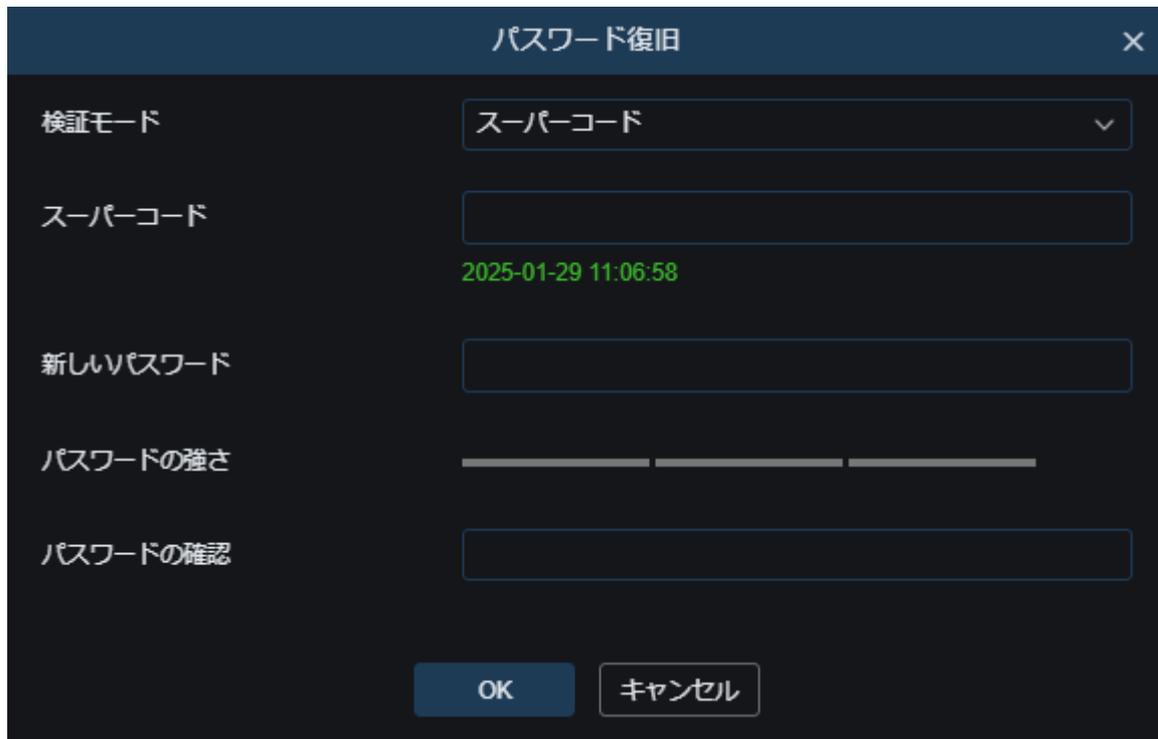
The image shows a dialog box titled "パスワード復旧" (Password Recovery) with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains the following elements:

- 検証モード** (Verification Mode): A dropdown menu currently set to "承認証明書" (Certificate).
- 承認証明書** (Certificate): A text input field with an "インポート" (Import) button to its right.
- 新しいパスワード** (New Password): A text input field.
- パスワードの強さ** (Password Strength): A progress bar indicator.
- パスワードの確認** (Confirm Password): A text input field.
- At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

図4.4.2

4.4.3 スーパーパスワード

スーパーパスワードは、パスワードを取得する非常に安全でない方法です。カメラのMacアドレスとスーパーコードによって表示された時間に基づいて、特定のルールに従って検証コードを計算できます。検証コードを入力することで、メインユーザーのパスワードを変更できます。



パスワード復旧

検証モード: スーパーコード

スーパーコード: 2025-01-29 11:06:58

新しいパスワード

パスワードの強さ

パスワードの確認

OK キャンセル

図4.4.3

4.5 パスワードの期限切れ

同じパスワードを長期間使用することは大きなセキュリティリスクを伴います。このため、プログラムは最後のパスワード変更のシステム時間を記録します。現在のログインのシステム時間が最後のパスワード変更のシステム時間から**90日**以上経過している場合、ユーザーはパスワードを変更するように通知されます。

ユーザーがパスワードを変更することを決定すると、インターフェースは図4.5.1にジャンプします。インターフェースの指示に従って、ユーザーは古いパスワードで確認しながら新しいパスワードを設定できます。

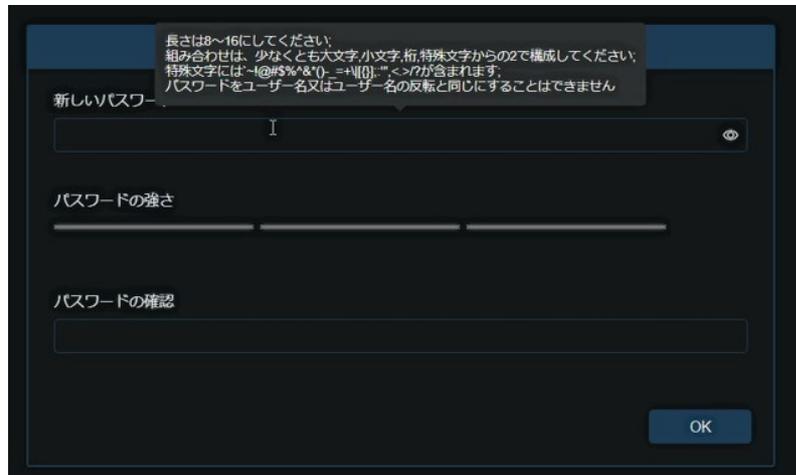


図 4.5.1

5. プラグインのインストール

IEブラウザを使用してログインする必要があります。画像を正常にプレビューするには、プラグインをインストールする必要があります。

図 5.1.1 のプロンプトが表示されたら、プロンプトに従ってプラグインをダウンロードしてインストールしてください。

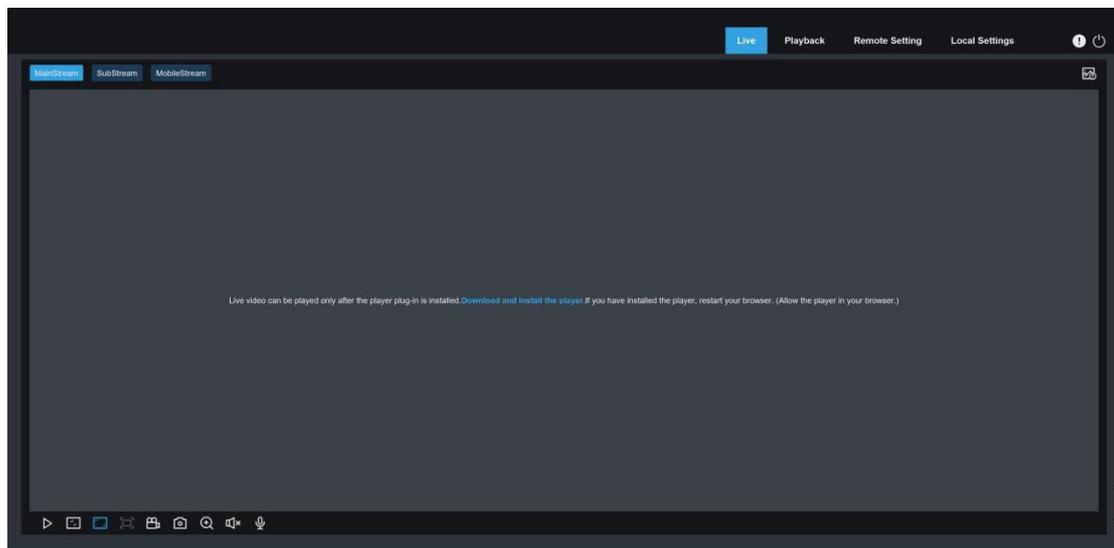


図 5.1.1

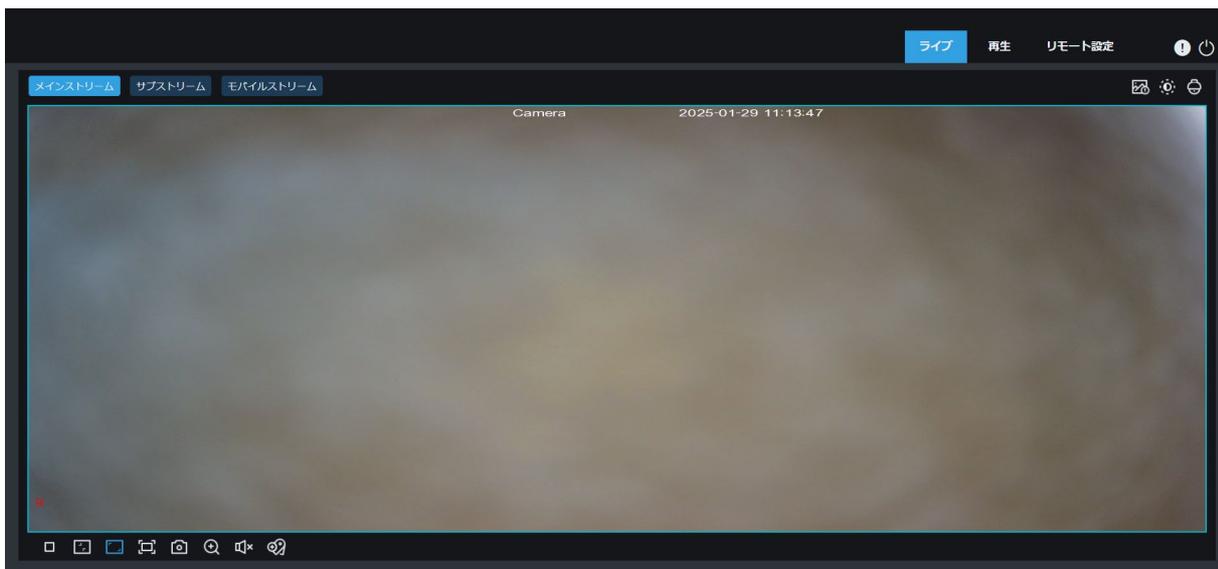
注意: プラグインなしでサポートされているプログラムがあります。**Safari 12以降**、**Chrome 57以降**、**Firefox 52以降**、**Edge 41**およびその他のブラウザでウェブアクセスを行う場合、プラグインのインストール手順は無視できます。

6. プレビュー

1. ライブ

ログインが成功すると、ウェブ端末はログインプレビューインターフェースに入ります。これは以下の図に示されています。

注意: 製品によって機能は異なりますので、実際の状況を参照してください。



コードストリーム切り替えメニュー: 左上隅で現在のプレビューインターフェースの画質を切り替えることができます:

メインストリーム: 画像是より鮮明ですが、ストリームの帯域幅が大きく、PC側インターフェースにより高いパフォーマンスが要求されます。

サブストリーム: 帯域幅とPCの要求は中程度ですが、画像是メインストリームよりも劣ります。

モバイルストリーム: 帯域幅とPCの要求は最も低いですが、画像是最も劣ります。

メインメニュー切り替えバー: ウェブの機能インターフェースを切り替えます。ウェブ端末には、ライブ、再生、リモート設定、ローカル設定の4つのメニューがあります。

情報: 現在ログインしているユーザー、ウェブバージョン、プラグインバージョンを表示します。

AIアラーム: 右側のアラームプッシュバーを開き、顔アラームや人間・車両検出などの機能を実行する際に対応する画像をプッシュします。

カラー：現在の画像設定を調整します。例えば、画像の彩度、シャープネスなど。

PTZ設定：パン/チルト操作設定を開き、カメラの焦点を再調整してください。

終了：現在のログインを終了します。

録画アラームステータス：カメラのアラームおよび録画ステータスを表示します。詳細については、セクション6.2を参照してください。

停止/再生：現在のストリームプレビューを開閉します。元の比率：現在のプレビュー画像を元の比率で表示します。引き伸ばし：現在のプレビュー画像を表示エリアに合わせて引き伸ばして表示します。全画面：現在のプレビュー画面を全画面で表示します。

画面をダブルクリックすると、この機能をオン/オフできます。機能を有効にしているときは、**Esc**キーを押すことで全画面を終了できます。

記録：現在のプレビューを手動で記録すること。キャプチャ：現在のストリームの画像を手動でキャプチャすること。デジタルズーム：画面の特定の領域を電子的にズームインすること。音声：現在のプレビューの音をオン/オフ、調整すること。

音声インターコム：カメラと話すこと。警告灯：白色灯を手動でオン/オフすること。サイレン：白色灯を手動でオン/オフすること。

ピクセルカウンター：コードストリーム内の領域のピクセルサイズを確認するためにフレームで領域を選択すること。

弾丸ボックス情報：アラームがトリガーされたとき、右下隅に現在のアラームが表示される。

6.2 録音状況

録画ステータスは、カメラの現在のアラームに対するウェブからのシンプルなりマインダーであり、録画が正常であるかどうかを示すことができます。同時に複数のアラームが存在する場合があります。具体的な指示については、以下の紹介を参照してください。

アイコンなし:カメラのSDカードは正常ですが、録画は行われていません。

R :カメラは一般的な録画を行っています。

注意:カメラがアラーム録画を行っているときは、マークが消えますが、一般的な録画は続行されません。

H :SDカードが異常な状態です。SDカードを確認してください。

M :カメラは動体検知アラームが作動していますが、動体検知録画は有効になっていません。

M :カメラは動体検知アラームが作動しており、動体検知録画が行われています。

:カメラはIOアラームが作動していますが、IOアラーム録画は有効になっていません。

I カメラはIOアラーム中で、IOアラーム録画が行われています。

I カメラはPIRアラーム中ですが、PIRアラーム録画は有効になっていません。

PIR カメラはPIRアラーム中で、PIRアラーム録画が行われています。

PIR カメラはスマートアラーム中ですが、スマートアラーム録画は行われていません。

S 注: インテリジェントアラームには、顔アラーム、人間&車両アラームなどが含まれます。

カメラはスマートアラームにあり、スマートアラーム録画が行われています。

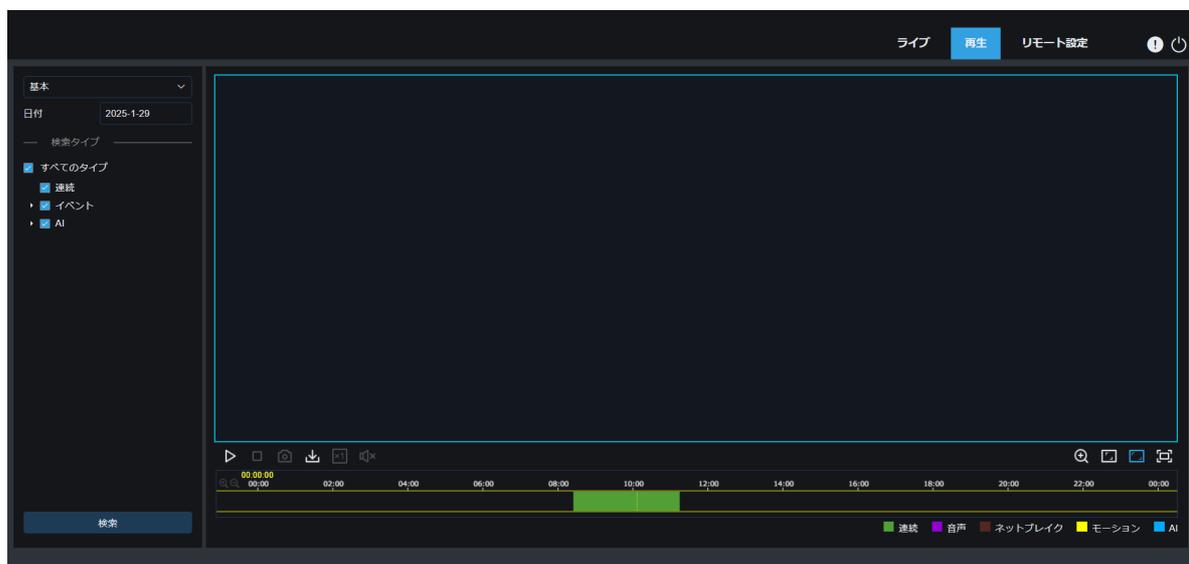
S

7. 再生

カメラはリアルタイム画像を表示するだけでなく、必要に応じて取得して表示できるように画像情報を保存する必要があります。

1. 一般再生

再生機能は、主に一般的なビデオ検索とAI検索機能で構成されています。以下の図はビデオ検索を示しています。



検索モード: 現在の検索モードを切り替えます。上の図に示すように、デフォルトは一般検索で、検索情報は通常のビデオファイルです。AI検索に切り替えることができます。

検索日: ビデオを検索する日付を設定し、検索をクリックすると、ビデオファイルの日付が表示されます。

検索タイプ: カメラがサポートする検索タイプを表示します。必要に応じて、ビデオの一部を検索して表示できます。

検索: 検索設定に従ってSDカード内のビデオを検索して表示します。

 一時停止/再生: 再生ストリームを一時停止または再生します

 停止: 再生ストリームを閉じます



フレームを1つ進める：クリックするたびに1フレームの画像を再生します。



録画：現在のプレビューストリームを手動で録画する。



キャプチャ：現在のストリームの画像を手動でキャプチャする。



ダウンロード：現在検索中のビデオをダウンロードする。



速度：再生速度。1/8、1/4、1/2、1、X2、X4、X8のような速度調整をサポート。



オーディオ：再生ストリームの音をオン/オフ、調整します。

再生進行状況バー：下の時間バーは、検索結果の進行状況を表示します。



デジタルズーム：表示ストリームの特定の領域を電子的にズームインします。

元の比率：現在のプレビュー画像を元の比率で表示します。



ストレッチ：現在のプレビュー画像を表示エリアにフィットさせて表示します。



フルスクリーン：現在のプレビュー画像をフルスクリーンで表示します。画面をダブルクリックすることで機能をオン/オフでき、機能を有効にしているときはEscキーを押すことでフルスクリーンを終了します

再生進捗バーのズームイン/アウト：進捗バーはデフォルトで再生の進行状況を表示します24時間。この機能を使用すると、対応する再生位置により正確にジャンプできます位置。この機能はマウスホイールを通じても動作します。

7.2 顔による再生検索

カメラは顔検出機能を実行し、取得した顔情報を**マイクロSDカード**に保存し、同時に画像関連情報も保存します。検索時には、要求に応じて顔キャプチャを迅速に取得できます。キャプチャに基づいてビデオも位置付けることができます。顔検索再生インターフェースは以下の図に示されています。



検索モード：検索モードを切り替えます。現在の検索モードは**AI-顔検出**です。

開始時間：検索の開始時間を設定します。

終了時間：検索の終了時間を設定します。

顔属性：顔属性はデフォルトではクリックされていません。有効にすると、顔属性検出が開始されたときに顔のスナップショット画像のみを検索します。現在のファームウェアは、性別、年齢層、マスク、眼鏡、表情の**5種類**の顔属性検出をサポートしています。

アラームグループ：顔写真をキャプチャする際、カメラは顔データベースの設定に従って、対応する組み合わせに写真をマッチさせます。この設定を使用すると、希望するグループの写真を検索できます。

検索：設定に従って顔データを検索します。

追加：比較機能のために、写真表示エリアに写真を追加します。ローカルの写真やキャプチャした写真を追加できます。

削除：現在追加された画像を削除します。

類似度：**Compare**関数を使用する際に、顔の特徴値が一致するための最小類似度を設定します。

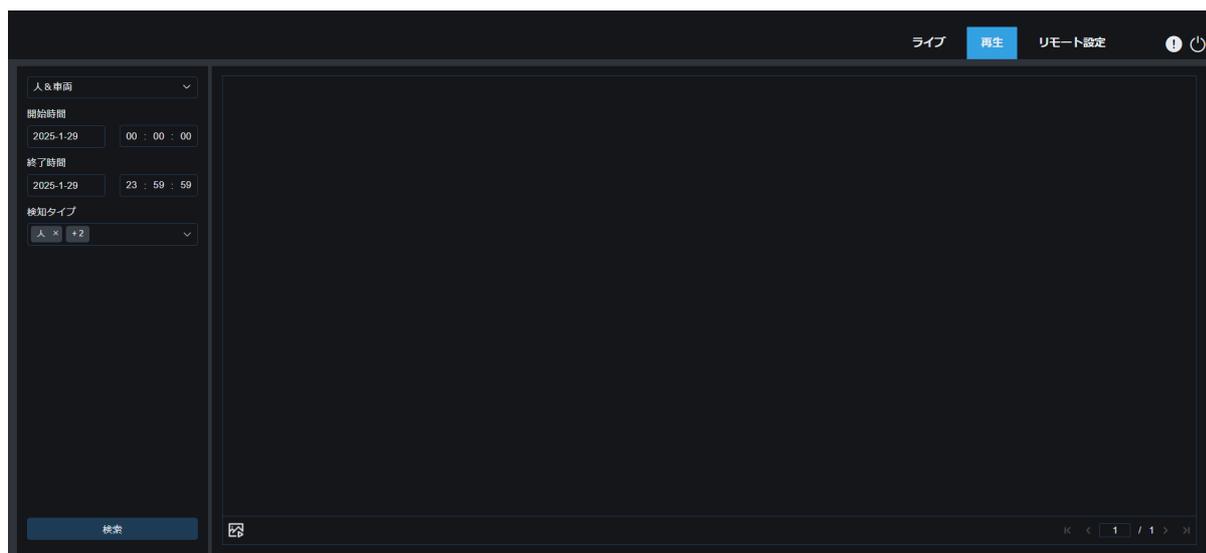
比較: 設定された検索時間、キャプチャされた画像のグループ、および選択された顔に基づいて、参照画像との比較を行いながら顔キャプチャ検索を実行します。

追加画像表示エリア: 比較検索に使用できる追加された画像を表示します。

検索結果表示エリア: 右側に、検索された顔のキャプチャが検索および比較機能に従って表示されます。検出の前後の短い期間の再生を見るには、画像をダブルクリックできます。

7.3 人と車両による再生検索

顔キャプチャ機能と同様に、カメラは人や車を区別し、記録することができるため、必要な記録を検索できます。インターフェースは以下の図に示されています。



検索モード: 検索モードを切り替えます。現在の検索モードはAI-人間および車両検出です。

開始時間: 検索の開始時間を設定します。

終了時刻: 検索の終了時刻を設定します。

検出タイプ: 検索する人間または車両のキャプチャを設定し、同時に両方を検索することもできます。

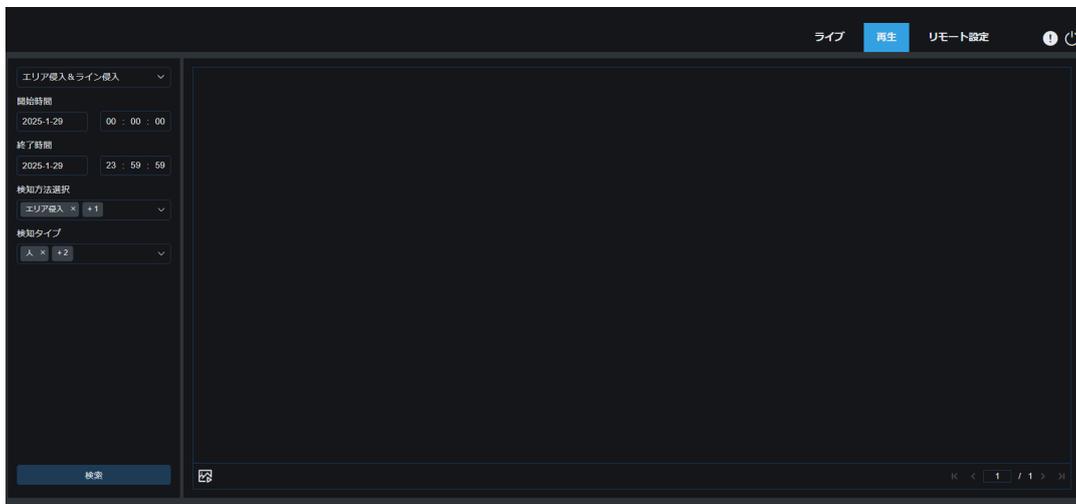
検索: 検索要素の設定に基づいて人間と車両のキャプチャを検索します。

検索結果表示エリア：検索結果を表示します。検出の前後の短い期間の再生に入るには、画像をダブルクリックしてください。

検索結果を反転できます：検索結果は右下隅で反転できます。

7.4 エリア侵入とライン侵入

技術の進展に伴い、**エリア侵入&ライン侵入**は人間と車両の検出機能を追加し、人間と車両のターゲットのみをアラームすることができます。さらに、画像や動画が記録され、検索や表示が容易です。インターフェースは以下の図に示されています。



検索モード：検索モードを切り替えます。現在の検索モードは**エリア侵入&ライン侵入**です

開始時間：検索の開始時間を設定します

終了時刻：検索の終了時刻を設定します

警戒：アラームをトリガーするキャプチャモードを**エリア侵入**または**ライン侵入**に設定し、同時に設定することもできます

検出タイプ：検索する人間または車両のキャプチャを設定し、同時に両方を検索することもできます

検索：検索要素設定に従って、人間と車のキャプチャを検索します

検索結果表示エリア：検索結果を表示します。検出の前後の短い期間の再生に入るには、画像をダブルクリックしてください

検索結果を反転できます：検索結果は右下隅で反転できます

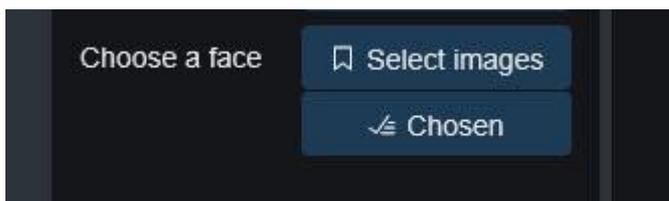
タイプを選択すると、システムは自動的に開始日と終了日を変更します。日を選択すると、開始日と終了日が自動的に同期されます。週を選択すると、選択した日が含まれる週の月曜日と日曜日に開始日と終了日が自動的に変更されます。月を選択すると、選択した日が含まれる月の初日と最終日に開始日と終了日が自動的に変更されます。カスタマイズを選択すると、検索日をカスタマイズできます。今日を選択すると、開始日と終了日が現在の日に自動的に変更されます。

開始日：検索の開始時間を設定します。

終了日：検索の終了時間を設定します。

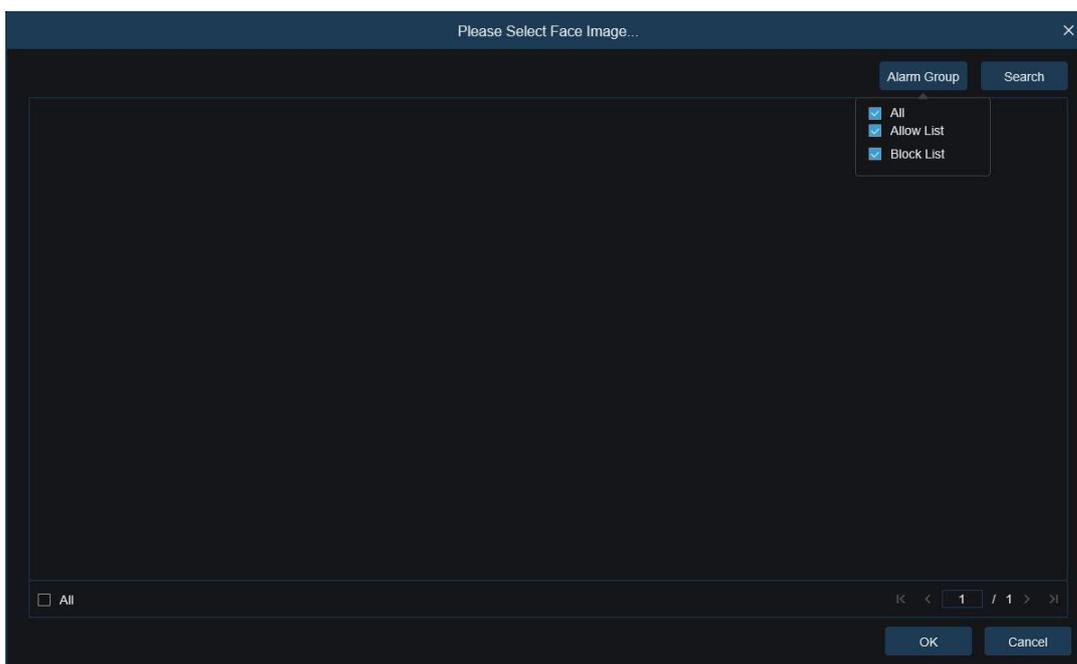
インポートタイプ：インポートタイプを選択します。グループ別と顔別があります。前者は、既存のグループにいるすべての人を検出対象として取り、マッチング結果を検索します。後者は、特定のグループ内の人々を選択して、一致する結果を検索することです。

アラームグループ：グループで選択する場合、データベースのグループ化に基づいて顔出席結果を検索します。



顔で選択する場合、インターフェースは上記のメニューに置き換えられます。

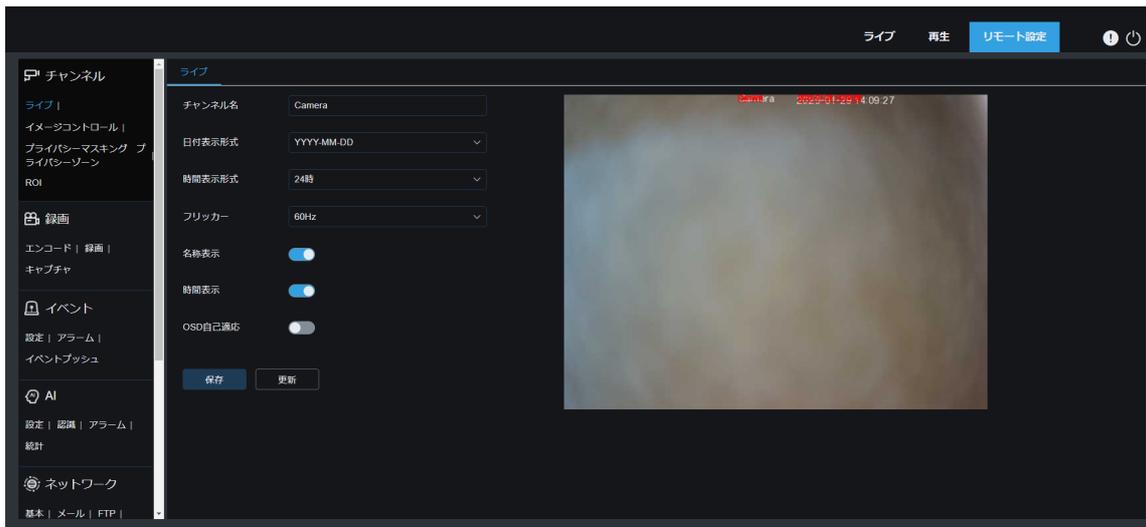
画像を選択：検出する顔を選択するには、クリックしてください。以下に示すウィンドウがポップアップします。



8、リモート設定

8.1 ライブ

ライブは、チャンネル名、デバイスタイム、**CC**およびその他のインテリジェント機能統計データと画像が重ね合わされる場所を設定するためのものです。インターフェースは以下の図に示されています。



名前：カメラがOSDに表示するチャンネル名を設定します。

日付形式：OSDの日付形式を設定します。三種類あります：MM/DD/YYYY、YYYY-MM-DD、DDMMYYYY。

時間形式：OSDの時間形式を設定します。12時間制と24時間制のオプションがあります。

フリッカーコントロール：画像のリフレッシュレートを設定します。60Hzと50Hz、N規格およびP規格に対応しています。

表示名：画像にチャンネル名を表示するかどうかを設定します。

表示時間：画像にチャンネル時間を表示するかどうかを設定します。

チャンネル名表示位置：画像上でチャンネル名をドラッグして設定します。時

間表示位置：画像上でチャンネル時間をドラッグして設定します。

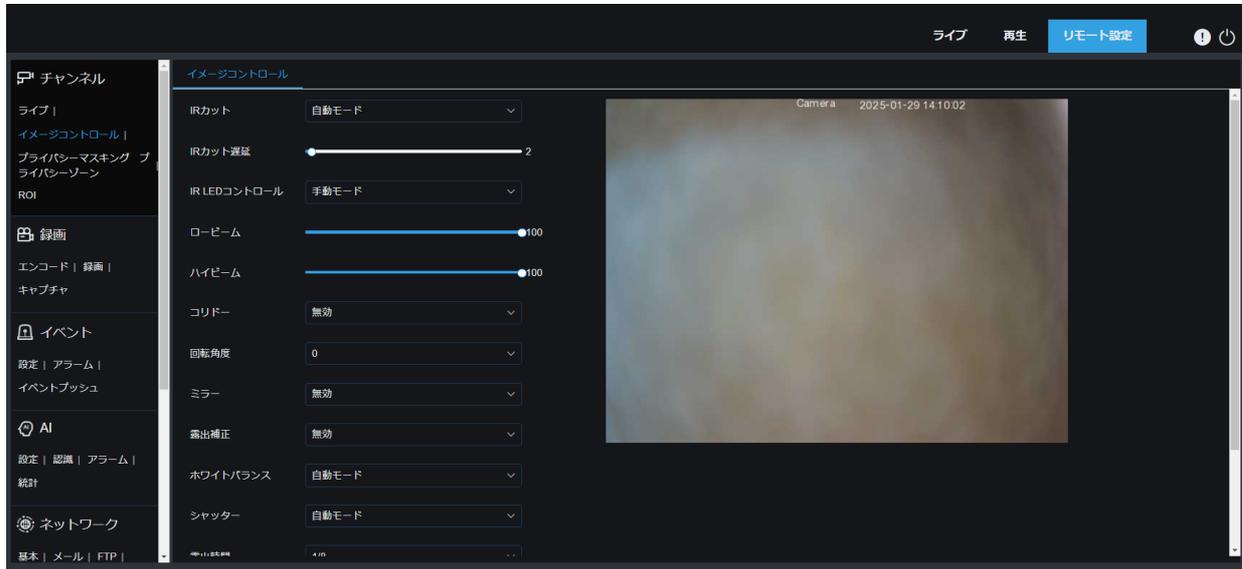
アラーム統計表示位置：画像上でチャンネルアラーム統計の位置をドラッグして設定します。この設定は、機能が有効な場合にのみ表示されます。

保存：現在の変更を保存する再取得：現在のインタ

ーフェースパラメータを再取得します。

8.2 イメージコントロール

画像制御は、色を黒モードにする、ワイドダイナミック、バックライト補充など、グラフィックパラメータを直接制御および変更することです。インターフェースは以下のように表示されます。



IR-CUTモード：カメラの昼夜切替モードを設定します。合計**5**つのモードがあります。

自動モード：切替モードを自動的に制御します。カラーから白黒への切替は画像によって制御され、白黒からカラーへの切替は光感知によって制御されます。

カラーモード：強制的なカラーモードで、白黒モードには切り替わりません。

白黒モード：強制的な白黒モードで、カラーモードには切り替わりません。

画像モード：自動モードと似ており、カラーから黒、黒からカラーへのモードは画像によって制御されます（いくつかのモデルでサポートされています）

スケジュール：スケジュール設定を通じて白黒とカラーを切り替えます。この機能を有効にするには、ナイトビジョンの開始時間と終了時間を設定する必要があります。

IR-CUT遅延：自動モードと画像モードは昼と夜の間で切り替わりますが、**IR-CUT**の持続時間を決定する必要があります。たとえば、ナイトビジョンに切り替えるとき、カメラが設定された時間だけ暗い場合にのみナイトビジョンの切り替えが行われます。

IR-LED：ナイトビジョン中のカメラの**IR LED**の補助光効果を設定します。モードは**2**つあります。

SmartIR：**IR LED**の補助光の強度をインテリジェントに制御し、焦点距離や画像のオーバーエクスポーズの有無に応じて**IR LED**の補助光を動的に制御します。

オーバーエクスポーズ。

マニュアル：マニュアルモード、設定された**IR LED**の明るさで補助光を提供します。

角度設定：画像の回転設定。カメラは、いくつかのシナリオでプリセットから逆さまになっています。例えば、上下逆に使用するよう設計されていますが、実際には横向きで使用されます。この値によって画像を調整できます。

ミラー：画像効果を調整するためのミラーモードを設定します。4つのモードがあります。

無効：ミラーモードをオフにします。

垂直：垂直方向のミラーモードで、画面の画像を上下にインタラクティブにします。

水平：水平方向のミラーモードで、画面の画像が左右にインタラクティブになります。

すべて：垂直と水平を同時にオンにし、効果は180°回転に似ていますが、実現原理は異なります。

バックライト：バックライトにおけるファームウェアの性能を設定します。モードは4つあります：

WDR：ワイドダイナミックレンジモードで、設定値に応じて全体の画像をバランスの取れた状態にし、明るい部分と暗い部分をはっきりと見ることができます。 **HLC**：ハイライト補償。画像のハイライトエリア内のオブジェクトをより明確にします。(一部のモデルでサポートされています)

バックライト：暗い場所でオブジェクトをより明確にします。

無効：バックライトをオフにします。

ホワイトバランス：赤、緑、青の三原色を混ぜて白を生成するための色調整の指標です。モードは2つあります。

自動モード：ファームウェアのデフォルトパラメータを使用して、白色光を調整します。

手動：ユーザーが赤、緑、青のゲインを積極的に設定して、白色光を合成します。

シャッター：シャッター露光時間を設定します。モードは2つあります。

自動モード：設定された露光時間に基づいて、ファームウェアが適切な露光時間を自動的に選択します。

マニュアル：露出時間に設定された時間を直接使用します。

露出時間：カメラの露出時間を設定し、シャッターと組み合わせて使用します。露出時間が長いと画像がオーバーエクスポートされ、露出時間が短いと画像が暗くなります。

デフォグ：霧の多い天候は画像を悪化させます。デフォグ機能はこの欠点を補うことができます。設定は3つあります：

オフ：デフォグ機能を無効にします

自動モード：カメラが自動的に霧を取り除きます。

手動：手動で設定した値に従って霧を取り除きます。

3Dノイズリダクション：画像のノイズを減少させ、写真をより明瞭にします。モードは3つあります：

自動モード：カメラがアルゴリズムに従って自動的にノイズリダクションを選択します

。

OFF：ノイズリダクションを無効にします。

Manual：手動でノイズを減少させます。 **Save**

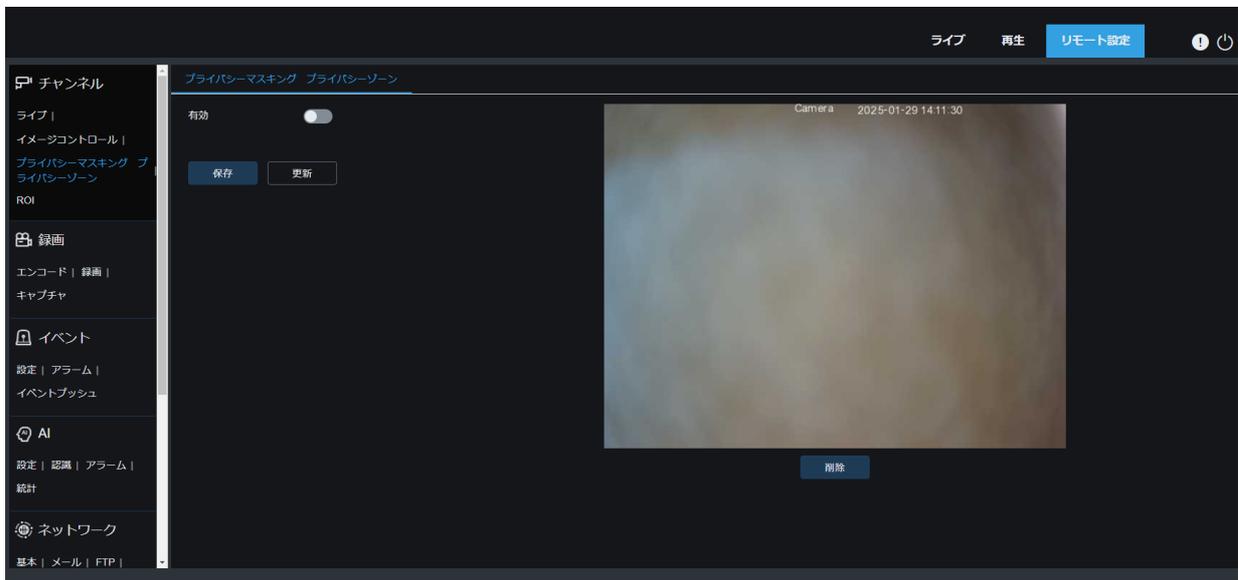
：パラメータを保存します。 **Default**：パ

ラメータをデフォルトに戻します。

リフレッシュ：パラメータを再取得します。

8.3 プライバシーマスキング

実際の使用において、一部のエリアは監視および記録に適していません。これらのエリアは、この機能を通じてビデオ内で隠すことができます。インターフェースは以下の図に示されています。



有効：機能をオンにするためのスイッチ。

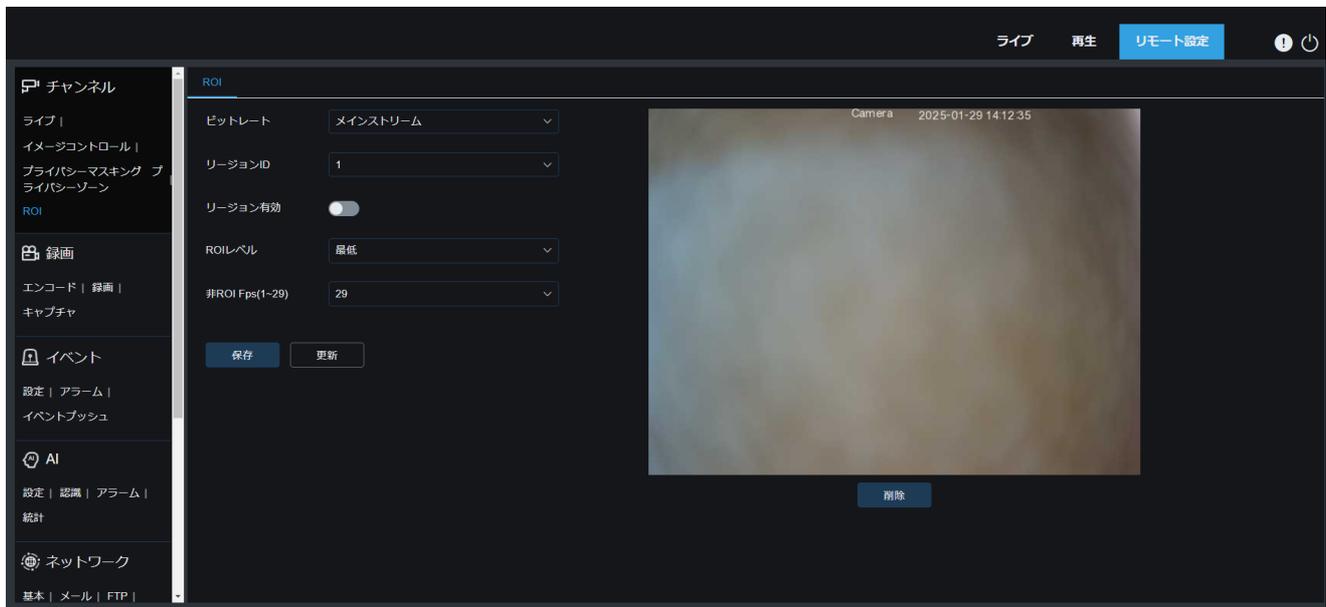
カバーエリア：監視画面でカバーする必要があるエリアを設定します。設定時、カバーするブロックは赤色で、機能が有効なときは画面の対応するエリアが黒色になります。4つのカバーブロックを設定できます。

削除：選択したカバーブロックを削除します。

8.4ROI

ROIは、ビデオから重要または敏感なエリアを選択できることを意味します。

このエリアは、非選択エリアとは異なるフレームレートと解像度に設定できます。



ビットレート：設定するビットレートを選択します。

リージョンID: 最大8つのリージョンを設定できます。

リージョンを有効にする: 有効にします。

ROIレベル: エリア内の画像品質を設定します。品質が高いほど、解像度とフレームレートが向上します。

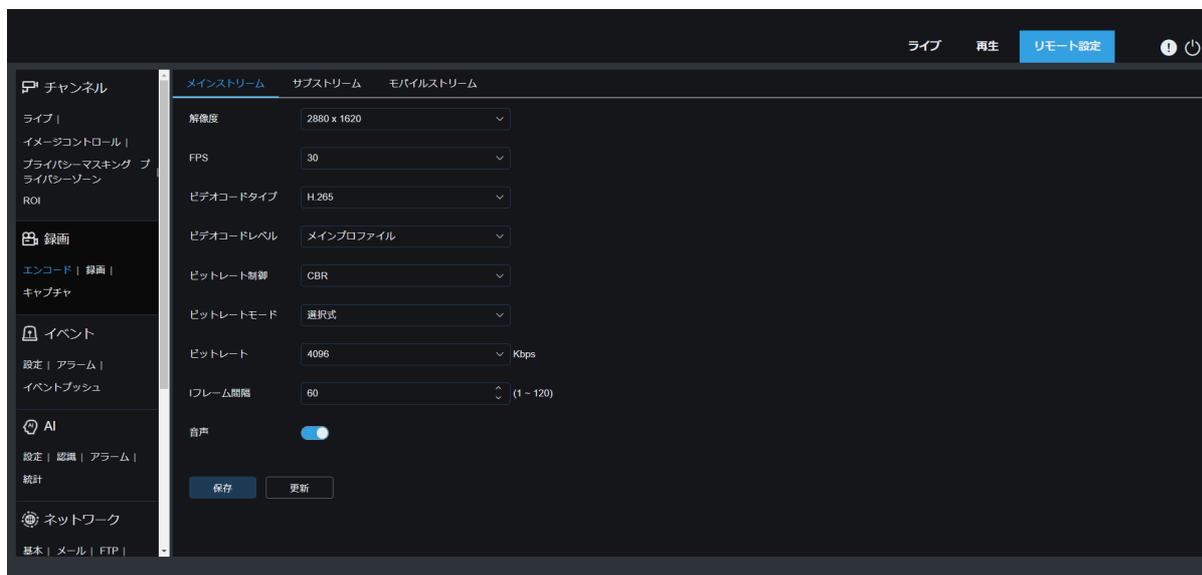
非ROIフレームレート: リージョン外のフレームレートを設定します。

5. レコード

このメニューでは、プレビューおよび録画のパラメータを設定できます。

1. エンコード

このメニューでは、録画されたビデオまたはネットワーク伝送の画質を設定できます。一般的に、メインストリームはHDDに保存される録画ビデオの画質であり、サブストリームはリモートアクセス (WebクライアントやCMSなど) を通じてのプレビュー動画の画質です。モバイルストリームは無効にすることができ、リモートアクセスを通じてモバイルデバイスのプレビュー画質を定義します。



解像度：録画された画像の解像度。

FPS：IPCによって録画されるフレームの数。

ビデオコーデックタイプ：デコーディングタイプで、H264、H265、H264+、H265+、および MJPEG (MJPEGモードはサブストリームモードにのみ存在します) があります。

ビデオコーデックレベル：ビデオ品質レベルで、Bestline、Main Profile、High Profile (H265の場合、Main Profileのみが利用可能) を含みます。

ビットレート制御：ビットレートレベルを選択します。単純なシーン、例えば灰色の壁の場合、一定ビットレート (CBR) が適しています。複雑なシーン、例えば賑やかな通りの場合、可変ビットレート (VBR) がより適しています。

ビットレートモード：ビットレートを自分で設定したい場合は「カスタム」モードを選択してください。プリセットビットレートを選択したい場合は「プリセットモード」を選択してください。

ビットレート：IPCが記録に使用するデータ伝送速度。ビットレートが高い動画は、

より良い品質を持ちます。

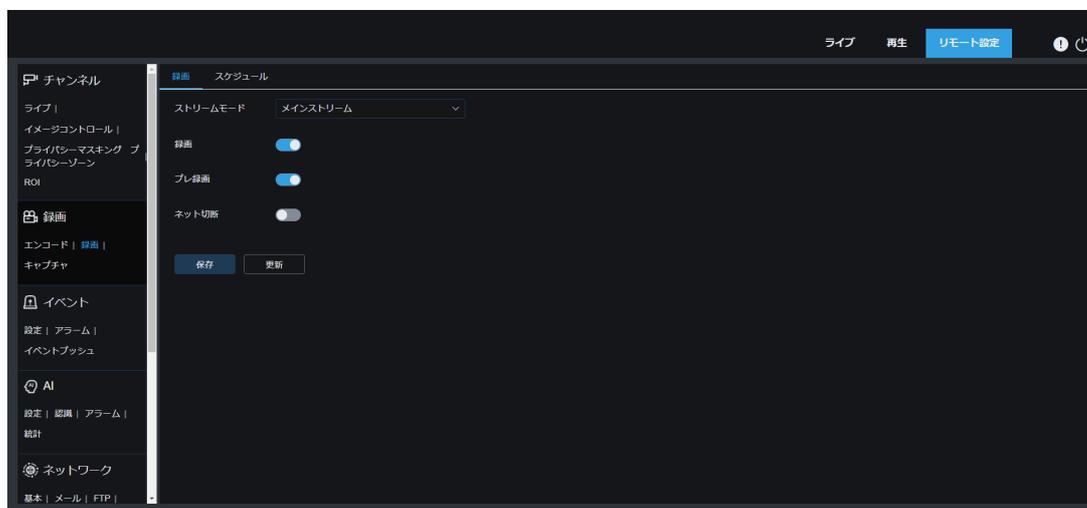
Iフレーム間隔：Iフレームの間隔を設定します。IPCのみ設定可能です。

音声：音声と動画を同時に録画したい場合は、IPCにマイクを接続するか、音声機能を持つカメラを使用してください。このオプションを選択してください。

2. レコード

1. 録画パラメータ

このメニューで録画パラメータを設定できます。



ストリームモード: 録画モードでSDカードに保存されるビデオストリーム。デフォルトはメインストリームです。

録画: 録画を有効にするにはチェックを入れてください。

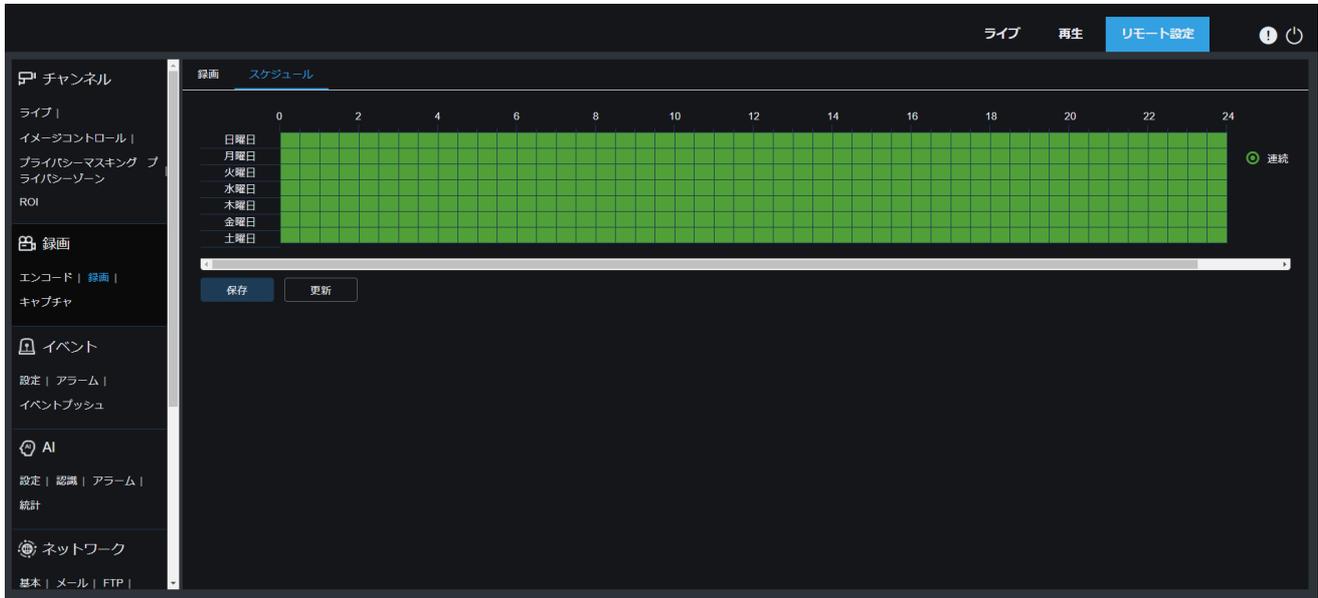
プリレコーディング: このオプションが有効になっている場合、IPCはアラームイベントが発生する数秒前から録画を開始します。カメラの主要な録画タイプが動体検知またはI/Oアラームに基づいている場合、このオプションを使用することをお勧めします。

ネットブレイク: ネットワークが切断されたときに録画

8.5.2.2 録画スケジュール

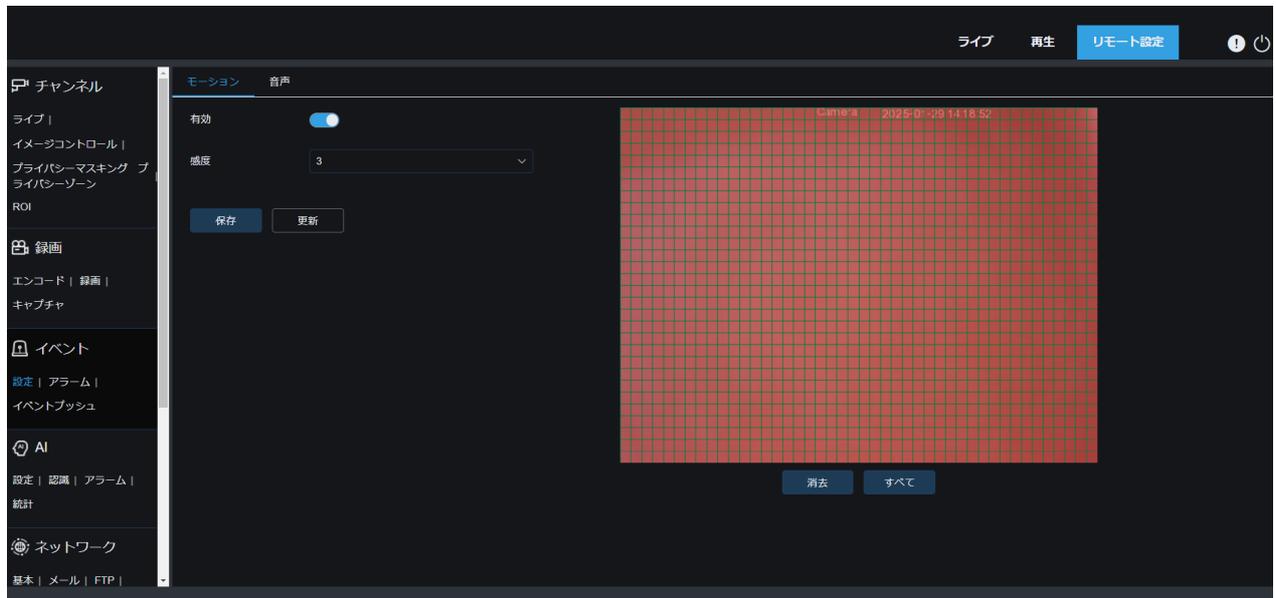
このメニューでは、IPCがビデオを録画する時間を指定できます。選択した時間帯のみで録画が行われます。

カーソルをドラッグしてエリアをマークします。



8.6 イベント

1. セットアップ



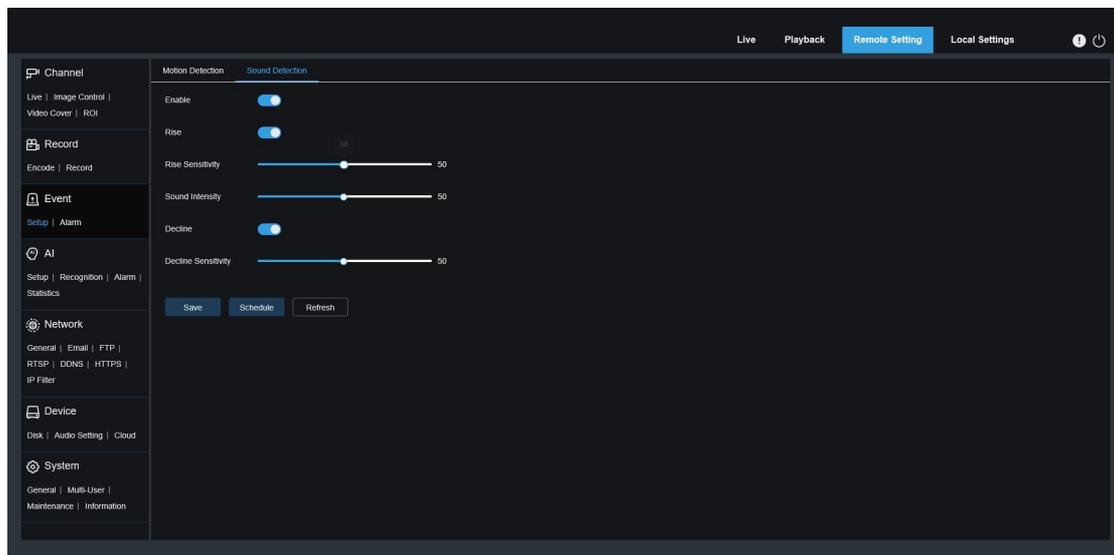
右のウィンドウで検出エリアを指定するには、左のマウスボタンをドラッグしてください。エリア内の動きのみがアラームをトリガーします。

有効：動体検知を有効または無効にします。

感度：動体検知の感度を設定します。値が大きいほど、感度が高くなります。

8.6.1.2 音声検知

カメラが接続された音声の変化を検出し、アラーム検出設定の要件を満たすと、アラームがトリガーされます。



有効：音声検出をオン/オフします。

上昇：音量が急激に上昇したときのみアラームがトリガーされます。

上昇感度：音の上昇感度検出を微調整し、感度は1から100に設定できます。値が大きいほど、音声検出の閾値は低くなります。

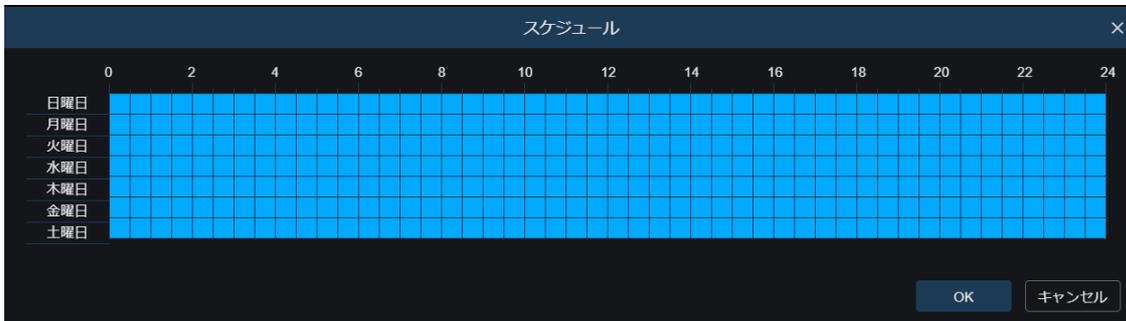
音の強度：粗調整音の上昇感度検出を行い、感度は1から100に設定できます。値が大きいほど、音の検出閾値が高くなります。アラームをトリガーしにくくなります。

減少：音の減少検出をオンにすると、音が短時間で急激に増加または減少した場合に、急激な減少アラームがトリガーされます。

減少感度：減少感度は1から100に設定でき、値が高いほど、

感度が高くなります。アラームをトリガーしやすくなります。

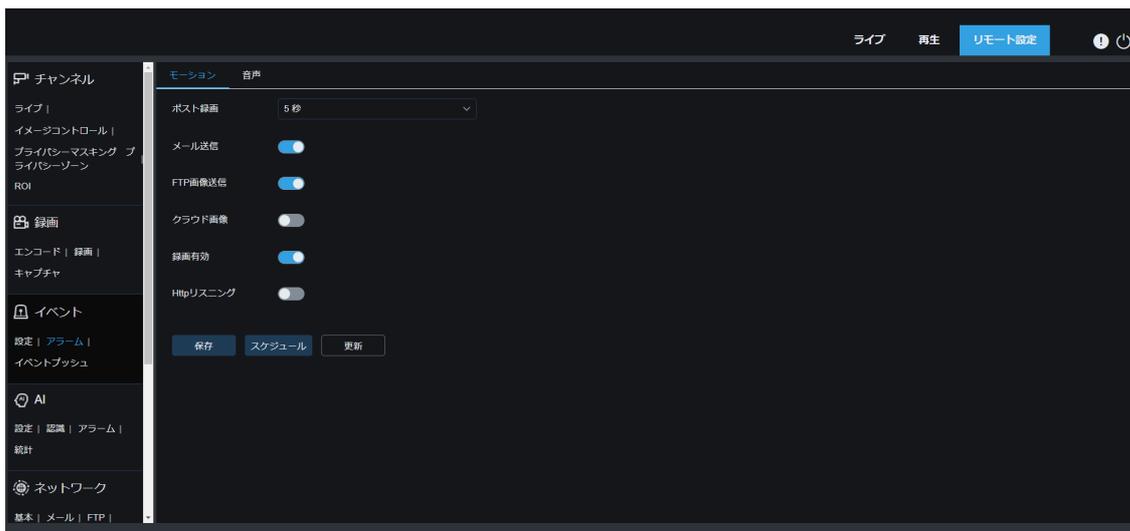
スケジュール：音検知の時間スケジュールを設定します。デフォルトでは完全に有効です。ユーザーはタッチ音アラームの時間帯をカスタマイズできます。



2. アラーム

このメニューでは、さまざまなアラームがトリガーされたときに実行されるアクションを設定できます。

1. 動体検知



ラッチタイム：動きが検知されたときの外部アラームトリガー時間を設定します。

ポスト録音：イベントが発生した後のデバイスの録音時間を設定します。選択肢は5秒、10秒、20秒、30秒の4つです。デフォルトの録音時間は5秒で、最大は30秒です。

メール送信：カメラが動きを検知したときに、あなたのメールボックスにメールを送信するように設定します。

FTP画像アップロード：アラームがトリガーされた後、アラーム画像をFTPサーバーにアップロードします。

クラウド画像：アラームがトリガーされた後、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。

アラーム出力：オプション機能。カメラが外部アラームデバイスに接続できる場合、

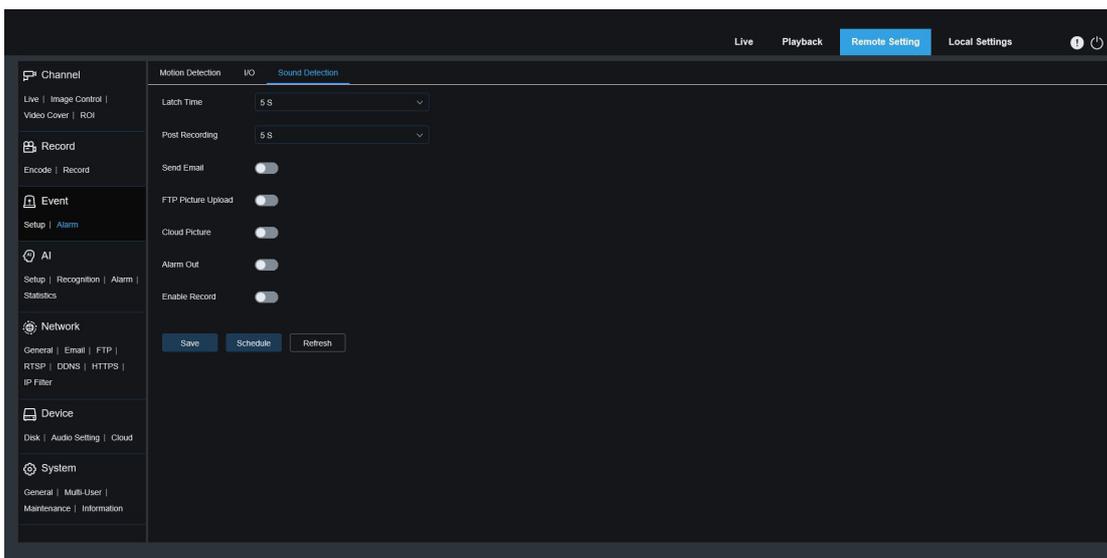
この機能を有効にすることで、外部アラームデバイスを作動させることができます。

録画を有効にする：チェックを入れると、アラームがトリガーされたときにこの録画タイプが有効になります。

スケジュール：各アラームアクションのスケジュールされた時間を設定します。スケジュールされた時間内に一連のアラームアクションが実行されます。



8.6.2.3 音声アラーム



ラッチタイム:動きが検知されたときの外部アラームトリガー時間を設定します。

ポスト録音:イベントが発生した後のデバイスの録音時間を設定します。選択肢は5秒、10秒、20秒、30秒の4つです。デフォルトの録音時間は5秒で、最大は30秒です。

音を検知した際にカメラがあなたのメールアドレスにメールを送信するように設定します。

FTP画像アップロード:アラームがトリガーされた後、アラーム画像をFTPサーバーにアップロードします。

クラウド画像:アラームがトリガーされた後、アラーム画像をクラウドサーバーにアップロードします。

アラーム出力:オプション機能。カメラが外部アラームデバイスに接続できる場合、この機能を有効にして外部アラームデバイスを作動させることができます。

録画を有効にする:チェックを入れると、アラームがトリガーされたときにこの録画タイプが有効になります。

スケジュール:各アラームアクションのスケジュールされた時間を設定します。スケジュールされた時間内に一連のアラームアクションが実行されます。



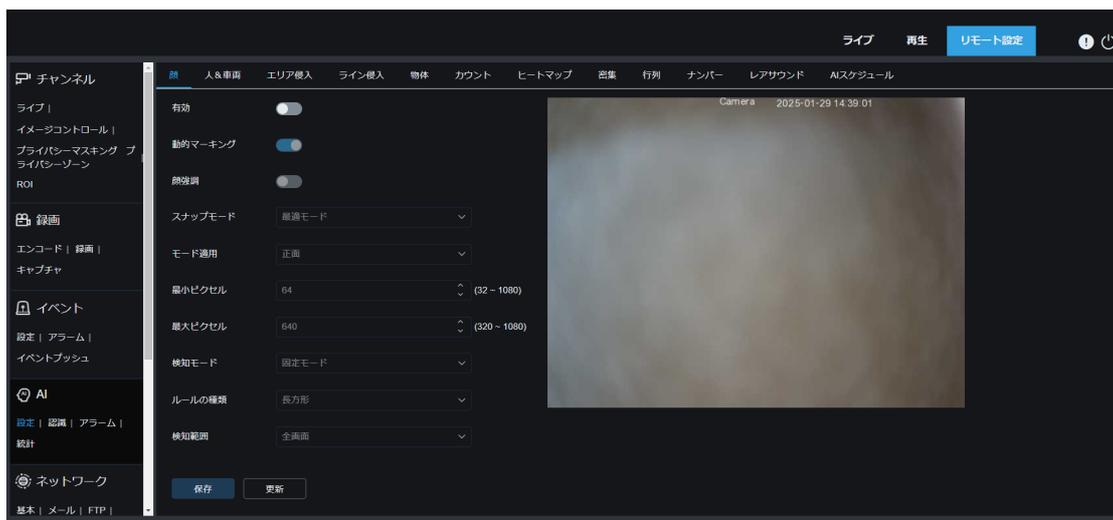
7. AI

1. セットアップ

AIスマートアラームを使用するには、まずセットアップメニューで対応するアラーム機能を有効にする必要があります。この機能はカメラの計算能力を必要とします。カメラの性能の制限により、エリア、ライン、ヒートマップは同時に使用できますが、それ以外のAI機能を同時に利用することはできません。

8.7.7.1 顔検知

この機能を有効にすると、カメラは顔のターゲットを検出して要件を満たすキャプチャを取得し、その後、顔モデルアルゴリズムを通じてキャプチャの顔の特徴データを計算し、顔データベースと比較してアラームをトリガーします。



有効：機能のオン/オフを切り替えます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールラインの有効/無効を切り替えます。

顔強化：動いている対象のキャプチャ効果を高めます。同時に、カメラに最も近い顔の明るさを調整し、スナップショット効果を最適化します。

顔属性：年齢、性別、マスク、眼鏡、表情などの属性を認識することで顔キャプチャを検出します。注意：この機能を有効にする必要があります。ADアラームを使用するには。

スナップモード：スナップショットモードを設定します。プレビューインターフェースでプッシュ受信を有効にするか、NVRに接続してプッシュ効果を表示できます。ファームウェアは3種類のスナップショットモードをサポートしています。

最適モード：カメラはターゲットを検出し、ターゲットが消えるまで追跡し、ターゲットが消えたときに最適な画像をプッシュします。

リアルタイムモード：カメラがターゲットを検出すると、すぐに画像をプッシュします。ターゲットが消えると、最良の画像をプッシュします。

インターバルモード：スナップショットの数とスナップショット間のインターバルを設定し、プッシュします。スナップ数は**1、2、3**、または無制限に設定できます。

スナップ頻度：時間範囲は**1-255**秒です。**5**秒に設定すると、ターゲットが検出されているときに**5秒、10秒、15秒**でプッシュが生成されます。

適用モード：キャプチャをフィルタリングします。つまり、角度設定を満たすキャプチャのみがプッシュされることができます。モードは**3**つあります。

正面ビュー：ターゲットの正面画像のみをプッシュします。

マルチアングル：側面顔のみを検出して画像をプッシュできます。

カスタマイズ：プッシュできるターゲットの角度をカスタマイズします。この機能を選択すると、ロール範囲、ピッチ範囲、ヨー範囲、画質、正面デフォルトおよびマルチデフォルトボタンなどの設定項目が追加されます。

ロール範囲：**3D**モデルにおけるキャプチャの回転角度を設定します。角度が設定に合わない場合、顔検出は行えますが、プッシュはできません。

ピッチ範囲：**3D**モデルにおけるキャプチャのピッチ角度を設定します。角度が設定に合わない場合、顔検出は行えますが、プッシュはできません。

ヨー範囲：**3D**モデルにおけるキャプチャの水平偏差角度を設定します。角度が設定に合わない場合、顔検出は行えますが、プッシュはできません。

画質：誤って検出された非顔キャプチャをフィルタリングするために使用されます。

最小ピクセル：**1080P**の解像度に基づき、最小ピクセル未満の顔画像はフィルタリングされます。デフォルトの解像度は**64×64**ピクセルで、設定範囲は**32～1080**ピクセルです。

最大ピクセル：**1080P**の解像度に基づき、最大ピクセルを超える顔ターゲットはフィルタリングされます。デフォルトの解像度は**640×640**ピクセルで、設定範囲は**32～1080**ピクセルです。

検出モード：カメラ内のターゲットの行動をフィルタリングします。モードは**2**つあります：

静的モード：すべての顔を検出します。

モーションモード：ポートレートや彫像の顔など、静的な顔を除外します。

ルールの種類：検出ルールには**2**種類あります。

矩形：設定されたエリア内の顔ターゲットのみを検出します。

ライン：設定に従って、検出ラインを越えた後に顔のターゲットが追跡されます。

検出範囲：検出エリアを設定します。モードは2つあります。

全画面：カメラで監視可能なすべてのエリアを検出しますカスタマイズ

イズ：四角形のフレームで選択されたエリアのみを検出します。

ルールタイプ：この設定項目は、ルール種別が使用されている場合にのみ利用可能です。2つのトリガーモードがあります：**A→B**と**B→A**。

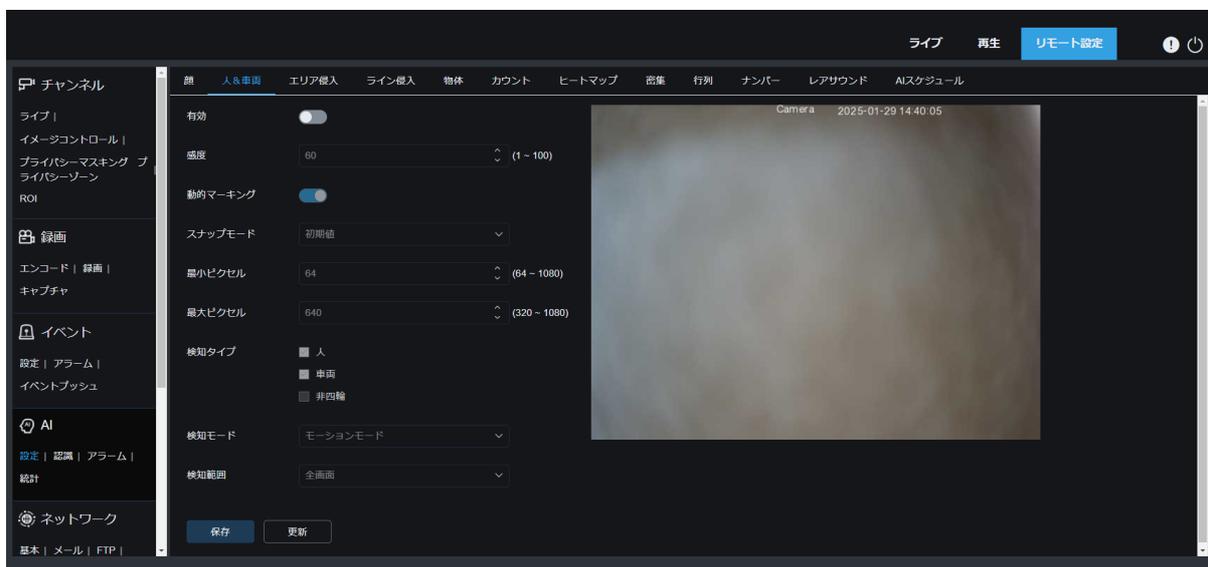
フロントデフォルト適用モード：カスタマイズを選択した場合に利用可能です。プッシュ角度の値を設定します。範囲：**30**、ピッチ範囲：**30**、ヨー範囲：**45**、画質：**100**

マルチデフォルト適用モード：カスタマイズを選択した場合に利用可能です。プッシュ角度の値を設定します。範囲：**180**、ピッチ範囲：**180**、ヨー範囲：**180**、画質：**100** ルール

設定エリア：このエリアで四角形検出ルールまたはトリガーラインを設定できます。

8.7.7.2 人&車両

この機能を通じて、カメラは画像内の歩行者または車両を認識し、アラームをトリガーし、対応するスクリーンショットを記録します。



有効：機能を有効または無効にします。

感度：値が大きいほど、検出がより正確になります。ただし、誤報も増える可能性があります。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールラインの有効/無効を切り替えます。

スナップモード：スナップショットモードを設定します。プレビューインターフェースでプッシュ受信を有効にするか、**NVR**に接続してプッシュ効果を表示できます。ファームウェアは**3種類**のスナップショットモードをサポートしています。

デフォルト：カメラはターゲットが消えるまで検出を続けます。ターゲットが消えたときに人間または車両に関連する**1枚**の画像がプッシュされます。

リアルタイムモード：カメラがターゲットを検出すると、すぐにキャプチャをプッシュします。ターゲットが消えると、再度キャプチャをプッシュします。

インターバルモード：キャプチャをプッシュする間隔を設定します。スナップ数：スナップ頻度で設定された間隔に基づいて、カメラは同じターゲットに対して**1回、2回、3回**、または無制限に画像をプッシュします。

スナップ頻度：カメラは設定された時間に画像をプッシュします。

最小ピクセル：**1080P**の解像度に基づき、最小ピクセル未満の人物または車両の画像はフィルタリングされます。

最大画素数：**1080P**の解像度に基づき、**maxpixel**を超える人物または車両の画像はフィルタリングされます。

検出：検出モードは**4つ**あり、無検出、歩行者検出のみ、車両検出のみ、歩行者&車両検出があります。

検出モード：カメラ内のターゲットの行動をフィルタリングします。モードは**2つ**あります：

静的モード：すべての歩行者または車両を検出します。

モーションモード：静止している歩行者や車両を除外します。

検出範囲：検出エリアを設定します。モードは**2つ**あります：

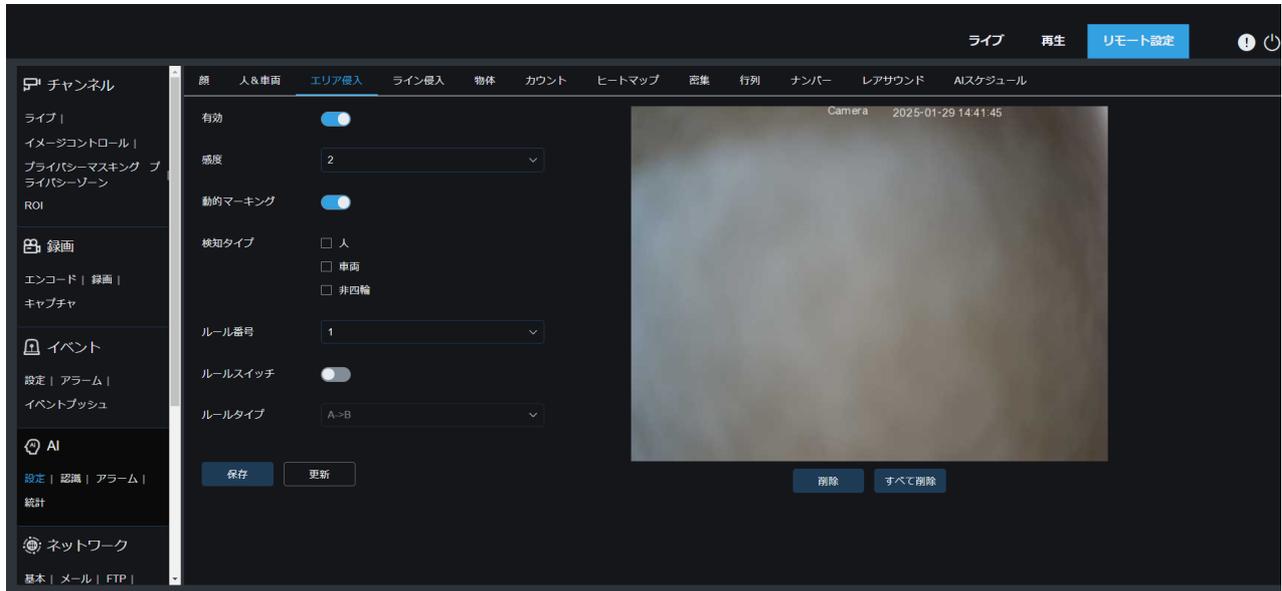
全画面：検出エリアはカメラの全カバーエリアです。

カスタマイズ：このモードを選択すると、小さなウィンドウに領域ボックスが表示されます。ユーザーはこのボックスをドラッグまたはストレッチして、検出のための領域を設定できます。

ルール設定エリア：カスタマイズモードを選択すると、このエリアで検出ルールを設定できます。

8.7.7.3 エリア侵入

ターゲットが警報ゾーンに入るか出ると、周辺侵入検知 (PID) 機能を通じて警報がトリガーされます。



有効：PIDの有効/無効を切り替えます。

感度：検出対象の感度が高いほど、動いている物体を容易に検出できます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールの有効/無効を切り替えます。

検出タイプ：検出する対象を設定します。4つのタイプがあります： OFF：

ラインを通過するすべての物体を検出します。段ボール、歩行者、車両など。歩行者：

ラインを通過する歩行者のみを検出します。

車両：ラインを通過する車両のみを検出します。

歩行者と車両：ラインを通過する歩行者と車両のみを検出します。

ルール番号：ルールを選択してください。選択できるルールは4つあります。

ルールスイッチ：各ルールを有効/無効にするためのスイッチ

ルールタイプ：各ルールの設定。A->BはAからBへの移動を検出できることを意味し、B-

>AはBからAへの移動を検出できることを意味し、A<->Bは双方向の移動を検出できる

ことを意味します。

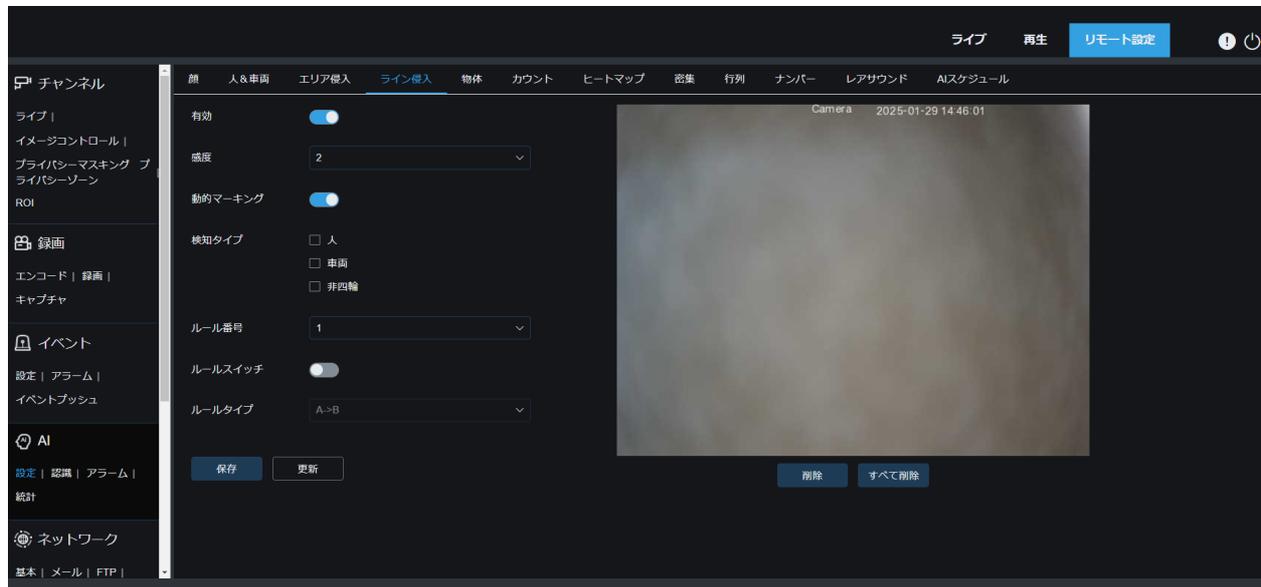
ルール設定エリア：編集されたルールはこのエリアに設定または表示できます。

削除：削除ルール

すべて削除：すべてのルールを削除

8.7.7.4 ライン侵入

ターゲットがプリセットラインを越えたとき、ラインクロッシング検出 (LCD) を通じてアラームがトリガーされます。



有効：LCDの有効/無効を切り替えます。

感度：検出対象の感度が高いほど、動いている物体を容易に検出できます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールの有効/無効を切り替えます。

検出タイプ：検出する対象を設定します。4つのタイプがあります：

オフ：段ボール、歩行者、車両など、ラインを越えるすべての物体を検出します。

歩行者：ラインを越える歩行者のみを検出します。

車両：ラインを越える車両のみを検出します。

歩行者と車両：ラインを越える歩行者と車両のみを検出します。

ルール番号：ルールを選択してください。選択できるルールは4つあります。

ルールスイッチ：各ルールを有効/無効にするためのスイッチ

ルールタイプ：各ルールの設定。**A→B**は**A**から**B**方向に移動するものを検出でき、**B→A**は**B**から**A**方向に移動するものを検出でき、**A↔B**は二方向を検出できることを意味します。

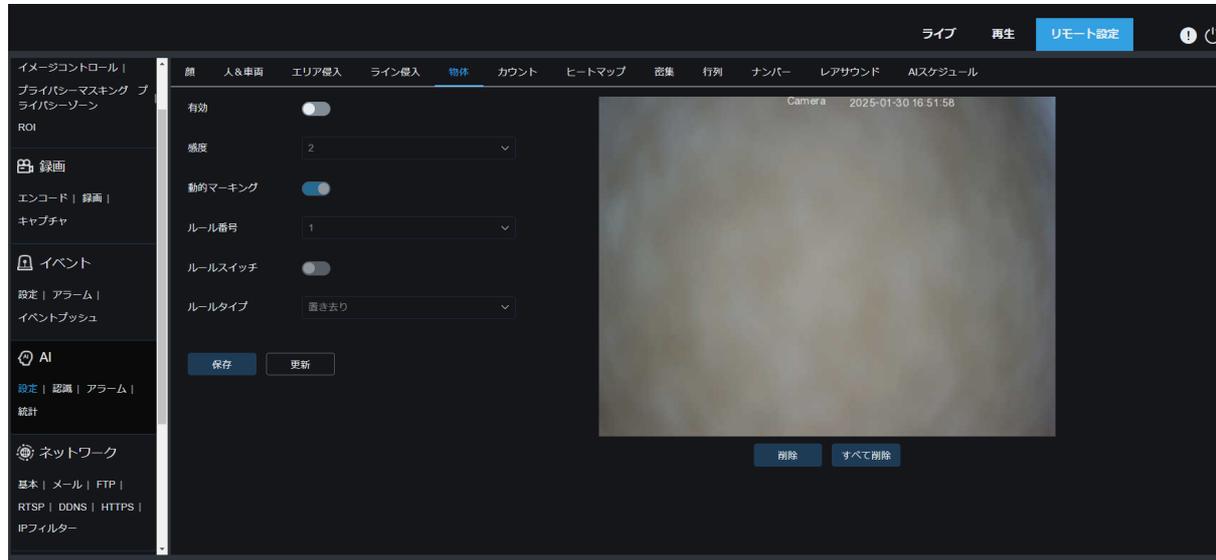
ルール設定エリア：編集されたルールはこのエリアに設定または表示できます。

削除：削除ルール

すべて削除：すべてのルールを削除

8.7.7.5 物体

この機能により、監視エリアでレガシーまたは紛失アイテムが見つかったときにアラームがトリガーされます。



有効：SODの有効/無効を設定します。

感度：検出対象の感度が高いほど、動いている物体を容易に検出できます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールの有効/無効を切り替えます。

ルール番号：ルールを選択してください。選択できるルールは4つあります。

ルールスイッチ：各ルールを有効/無効にするためのスイッチ

ルールタイプ：各ルールの設定。レガシー、紛失、レガシー&紛失の3つのルールがあります。

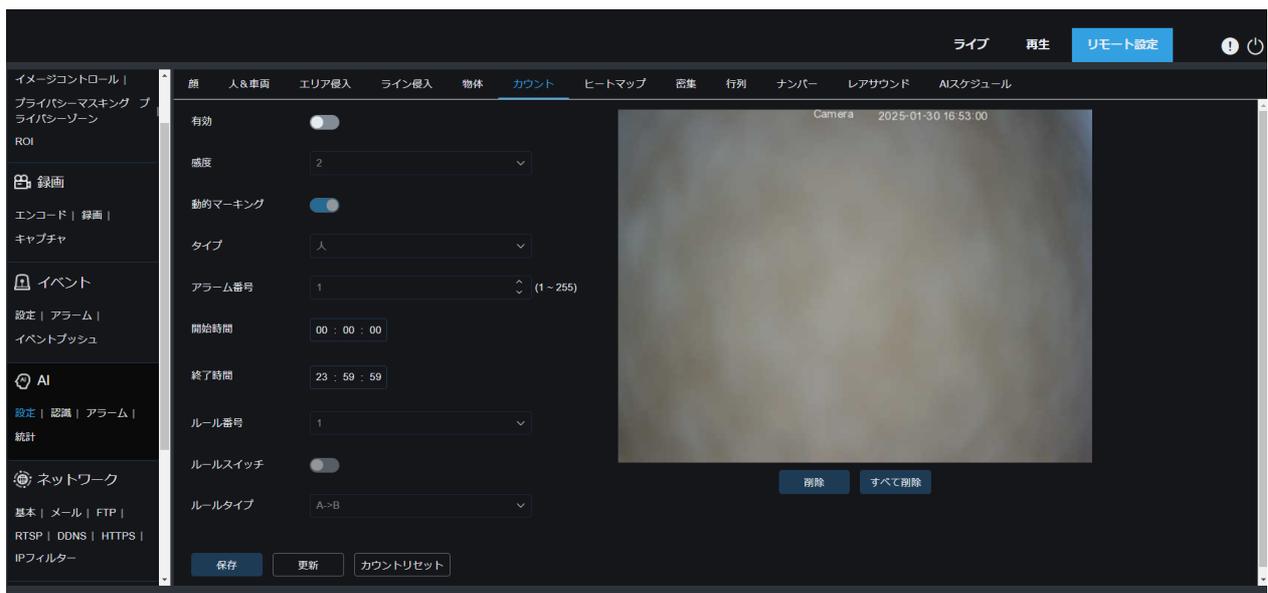
ルール設定エリア：編集されたルールはこのエリアに設定または表示できます。

削除：削除ルール

すべて削除：すべてのルールを削除

8.7.7.6 カウント

カメラは、監視エリア内で交差線を越える特定の物体を記録することができる交差カウント (CC) 機能を持っています。交差線を設定すると、線の両側に2つのエリア (AとB) があります。ルールがA→Bの場合、物体はエリアAからエリアBに向かって線を越えます。この場合、カウントが1増加します。物体がエリアBから入って線を越えてエリアAに向かうと、カウントアウトが1増加します。アラームは、カウントインからカウントアウトを引いた値が設定されたアラーム数以上である場合にのみトリガーされます。インターフェースは以下の図のようになります。



有効：CCを有効または無効にします

感度：検出対象の感度が高いほど、動いている物体を容易に検出できます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールの有効/無効を切り替えます。

タイプ：検出されたオブジェクトのタイプを設定します。モードは3つあります。保存に切り替えると、現在のカウントがクリアされます。

モーション：段ボール、歩行者、車両など、すべてのオブジェクトを検出します。

人：歩行者のみを検出します。

車両：車両のみを検出します。

アラーム番号：アラームの条件を設定します。カメラはアカウントを更新できます。入るカウントが出るカウントよりも大きい場合、設定したアラーム番号のカウントがトリガーされます。

開始時間CC：CC機能の開始時間を設定します。

終了時間CC：CC機能の終了時間を設定します。

ルール番号：ルールを選択します。選択できるのは1つのルールのみです。

ルールスイッチ：ルールを有効または無効にするためのスイッチ

ルールタイプ：ルールの設定。カウントインとカウントアウトの2つの方向があり、**A→B** および**B→A**が含まれます。例えば、**A→B**はオブジェクトがエリア**A**から入ってエリア**B**から出ることを意味し、カウントインが増加します。オブジェクトがエリア**B**から入ってエリア**A**から出ると、カウントアウトが増加します。

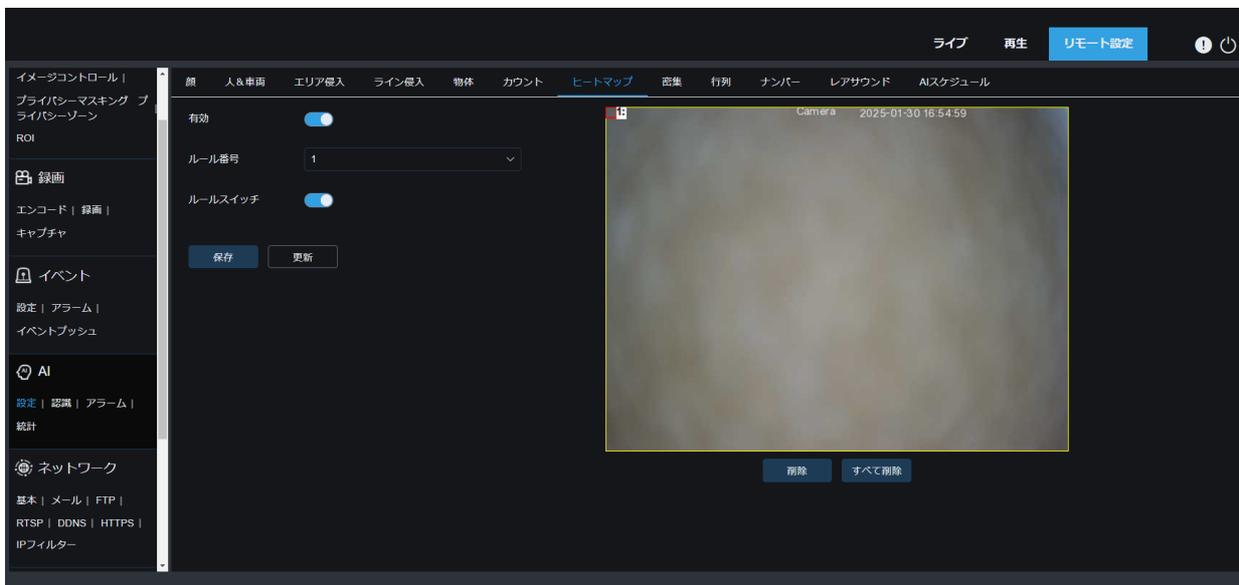
カウントリセット：表示されているカウントをクリアします。

ルール設定エリア：このエリアでルールを設定できます。

カウントエリア：カウントを表示します。特定の表示位置を調整するには、**8.1章**を参照してください。

8.7.7.7 ヒートマップ

ヒートマップ (HM) 統計機能は、モーションと類似のロジックを使用して、監視エリアの各エリアでの伝送の変化を判断し、10分ごとにその変化を保存およびアップロードします。多数の統計を通じて、ユーザーはシーン内の各エリアの変化を確認できます。この機能はデータロギングのみをサポートし、アラームはサポートしていません。



有効：HMを有効または無効にします。

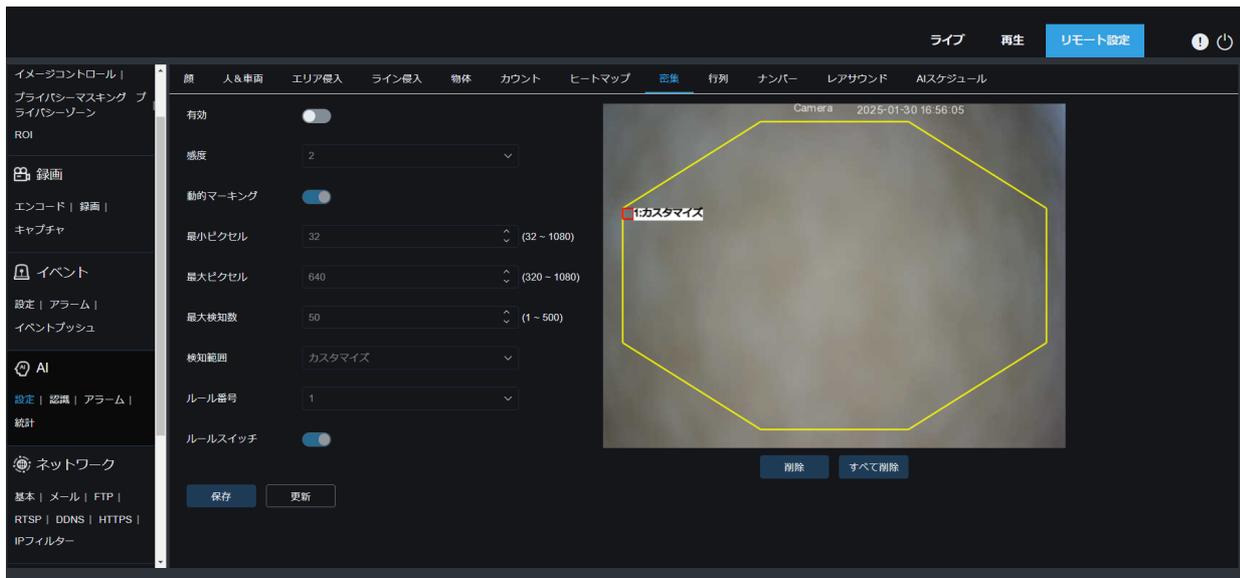
ルール番号：ルールを選択します。選択できるのは1つのルールのみです。

ルールスイッチ：ルールを有効または無効にするためのスイッチ

監視エリア設定：好みのエリアを設定します。すべてのエリアはデフォルトで選択されています。

8.7.7.8 密集

群衆密度検出は、人間の姿認識機能を通じて人間の頭を特定する方法であり、監視エリア内の人数を認識します。人数が設定値を超えるとアラームがトリガーされます



有効：CDの有効/無効

感度：検出対象の感度が高いほど、動いている物体を容易に検出できます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールの有効/無効を切り替えます。

最小ピクセル：1080Pの解像度に基づき、最小ピクセル未満の頭部の画像はフィルタリングされます。

最大ピクセル：1080Pの解像度に基づき、最大ピクセルを超える頭部の画像はフィルタリングされます。

最大検出数：検出エリア内で許可される最大の頭部数です。この数を超えるとアラームがトリガーされます。

検出範囲：検出エリアを設定します。モードは2つあります：

全画面：検出エリアはカメラの全カバーエリアです。

カスタマイズ：四角形の枠で選択した領域のみを検出します

ルール番号：ルールを選択します。選択できるのは1つのルールのみです。このオプションは

カスタマイズモードが選択されているときに利用可能です。

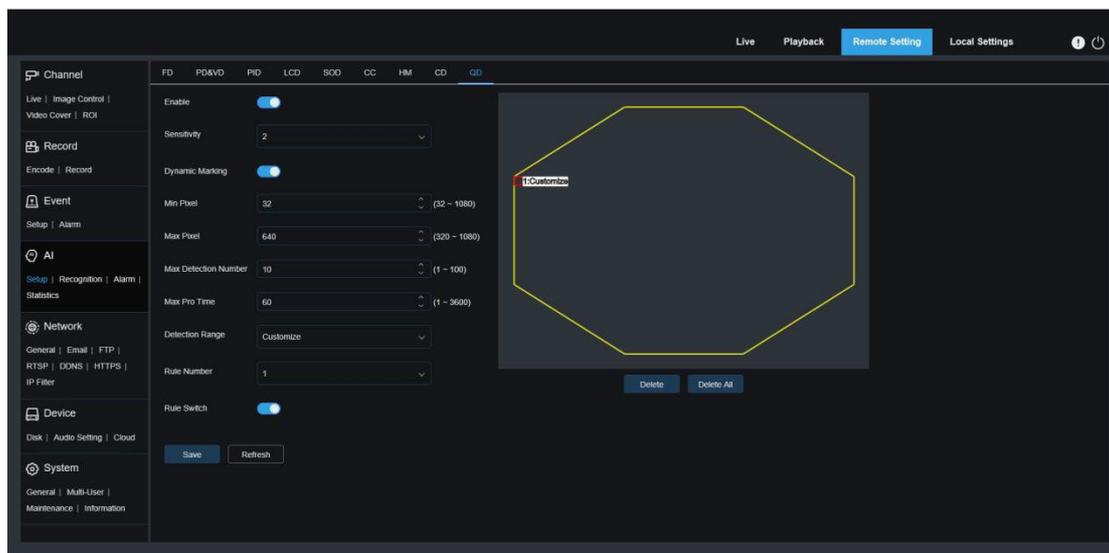
ルールスイッチ：ルールを有効または無効にするためのスイッチ。このオプションはカスタマイズモードが選択されているときに利用可能です。

検出範囲：このオプションはカスタマイズモードが選択されているときに利用可能です。八角形の検出エリアを設定する必要があります。

カウント表示エリア：監視エリア内の人数を表示します。特定の表示位置を調整するには、第8.1章を参照してください。

8.7.7.9 行列

キューや待機時間が長すぎると、QueuingDetection(QD)機能によってアラームがトリガーされます。



有効：QDの有効/無効を設定します。

感度：検出対象の感度が高いほど、動いている物体を容易に検出できます。

動的マーキング：検出フレームを表示します。検出ルールの有効/無効を切り替えます。

最小ピクセル：1080Pの解像度に基づき、最小ピクセル未満の頭部の画像はフィルタリングされます。

最大ピクセル：1080Pの解像度に基づき、最大ピクセルを超える頭部の画像はフィルタリングされます。

最大検出数：検出可能なヘッドの最大数は

検出エリア。この数を超えると、アラームがトリガーされます。

最大プロタイム：ターゲットが検出エリアを離れることを許可する時間を設定します。誰も長時間検出エリアを離れなかった場合、アラームがトリガーされます。

注意：カウントはターゲットが検出エリアを離れたときのみ再起動されます。ターゲットがエリア内で突然消えた場合は無視されます。ターゲットがエリア内で検出されたときのみカウントされます。

検出範囲：検出エリアを設定します。モードは2つあります：

全画面：検出エリアはカメラの全カバーエリアです。

カスタマイズ：四角形の枠で選択した領域のみを検出します

ルール番号：ルールを選択します。選択できるのは1つのルールのみです。このオプションはカスタマイズモードが選択されているときに利用可能です。

ルールスイッチ：ルールを有効または無効にするためのスイッチ。このオプションはカスタマイズモードが選択されているときに利用可能です。

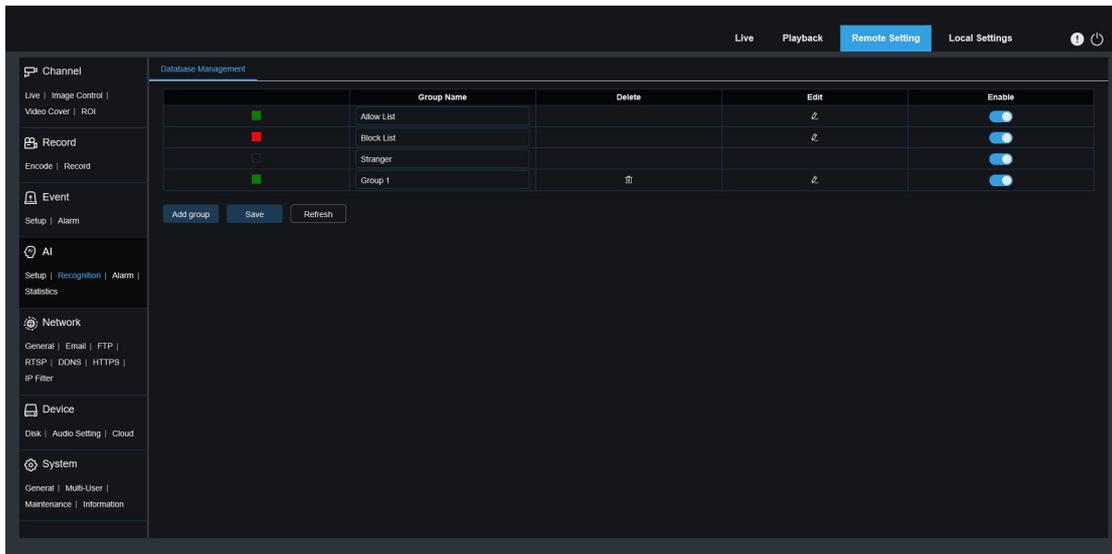
検出範囲：このオプションはカスタマイズモードが選択されているときに利用可能です。八角形の検出エリアを設定する必要があります。

カウント表示エリア：監視エリア内の人数と待機時間を表示します。特定の表示位置を調整するには、章8.1を参照してください。

8.7.2 認識

顔認識機能は、検出された対象を特定することに重点を置いており、比較のための基本データが必要です。ファームウェアは、データベース管理機能を通じて顔マッチングのためのデータベース基盤を確立します。

注意：データベースを変更するためにシステムを再読み込みするのに短時間がかかります。



アラームポリシー表示：カメラ内では、ポリシーのリマインダーとしてのみ機能します。緑は許可リストを、赤はブロックリストを、無色は不明者を表します。

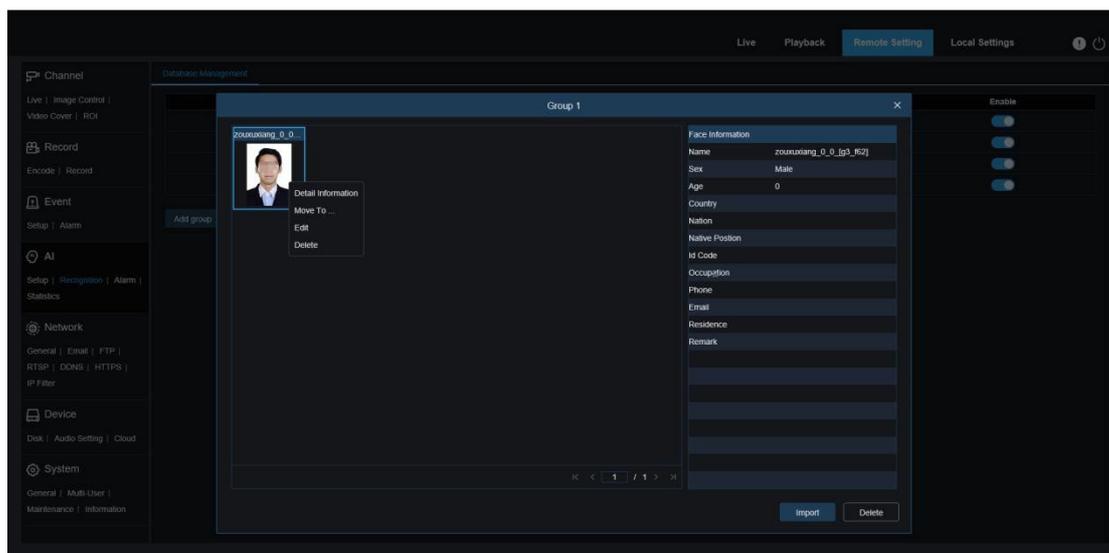
グループ名：グループ名を編集および修正し、アラームが送信される際に特定のグループ名が表示されます。

削除：グループ削除機能、最初の3つのグループは削除できません。

編集：グループ参照のための画像設定を開きます。詳細については以下の図を参照してください。

有効：顔認識はグループデータを比較に使用します。

グループ追加：新しいデータベースグループを追加します。最大16のデータベースグループがサポートされています。対応するグループのデータを設定するには、編集アイコンをクリックします。インターフェースは以下の図のようになります。



追加された画像表示エリア：追加されたグループの顔データベース画像を表示します。

情報：選択した画像の情報を表示します。

詳細情報：選択した画像の詳細情報を表示するには、右クリックイベントを使用します。

移動先...：選択した画像を他のグループに移動するには、右クリックイベントを使用します。

編集：選択した画像の編集インターフェースに入るには、右クリックイベントを使用します。

削除：画像を削除するには、右クリックイベントを使用します。

インポート：新しい顔データを現在のグループに追加します。ローカルの画像やカメラでキャプチャした画像をインポートできます。

削除：データベース内の顔データをバッチで削除します。

8.7.3 アラーム

アラームはカメラのAI機能によって実現できます。実装モードに応じて3つのカテゴリに分けられます：

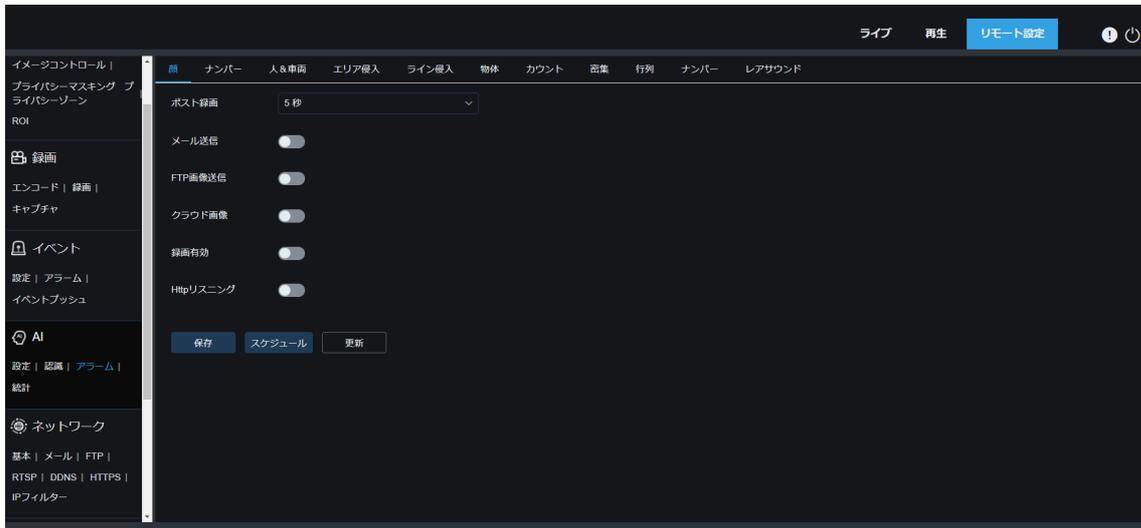
最初のカテゴリにはFD、AD、PD&VD、PID、LCD、SOD、CC、CD、QDが含まれます。カメラがアラームイベントを検出すると、直接アラームがトリガーされます。

第二のカテゴリはFRです。カメラはアラーム画像を取得し、画像の顔の特徴値を認識し、それをデータベース内のデータと比較し、対応するアラームグループ設定に従ってアラームをトリガーします。

第三のカテゴリはFAです。カメラは特定の時間にデータを自動的に検索し、アラームプッシュメールを送信します。

8.7.3.1 顔検知、ナンバー、人&車両、エリア侵入、ライン侵入、物体、カウント、密集、行列、ナンバー、レアサウンド

カメラがアラームイベントを検出すると、直接アラームをトリガーします。



アラームタイプ：ADアラームの特別オプション。カメラは、キャプチャされた対象がマスクを着用しているかどうかを識別することでアラームを発生させることができます。モードは3つあります。

無効：ADアラームを無効にします。

マスクなし：対象がマスクを着用していない場合にアラームが鳴ります。

マスク着用：対象がマスクを着用しているときにアラームが鳴ります。

ラッチタイム：アラームが終了した後、カメラのIOアラームが継続して鳴る時間。注意：カメラはIO出力機能をサポートする必要があるため、作業時間は対応するスケジュールによって制御されます。

録画後：アラーム終了後の録画の持続時間。

注意：同時に、有効時間はスケジュールによって制御されます。

メール送信：カメラがアラーム時にメールを送信するかどうか。

注意：同時に、有効時間はスケジュールによって制御されます。

FTP画像アップロード：カメラはアラームが発生した際に関連付けられたFTPサーバーに画像を送信します。連続してトリガーされる場合、アラームが終了するまで10秒ごとにサイクルで送信されます。

注意：同時に、有効時間はスケジュールによって制御されます。また、FTPサーバーは事前に関連付ける必要があります。

クラウド画像：カメラは関連付けられたクラウドストレージサーバーに画像を送信します。

アラームが鳴るとき。連続してトリガーされると、アラームが終了するまで**10秒**のサイクルで送信されます。

注意：同時に、有効時間はスケジュールによって制御され、クラウドストレージサーバーは最初に関連付ける必要があります。

アラーム出力ラッチ時間：スイッチを設定して有効にします。

録画後の録音を有効にする：スイッチを設定して有効にします。

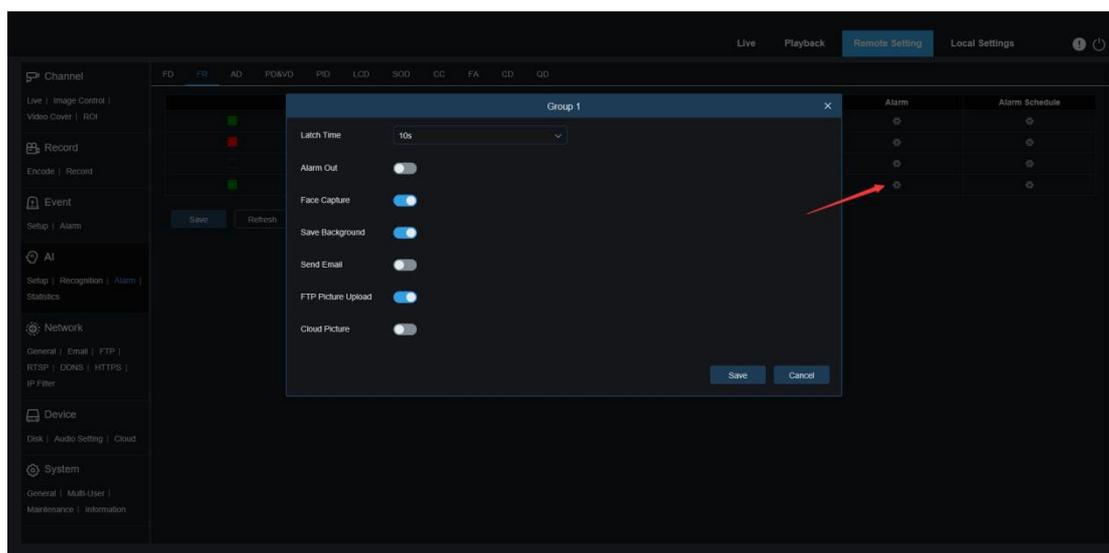
抑止：白色光に関連するスイッチ。アラームがトリガーされると、カメラはリモート設定-イベント-設定-抑止の設定に従ってアラームに応じます。

具体的には、白色光の応答とスピーカーの応答に分けられ、スケジュールによってそれぞれ制御されます。(白色光機能を持つ一部のモデルでサポートされています)

スケジュール：メール送信、アラーム出力、FTP画像アップロード、クラウド画像、録画、光(抑止)、サイレン(抑止)のスケジュールを設定します(白色光機能を持つ一部のモデルでサポートされています)

8.7.3.2 顔認識

FRは顔認識アラーム応答です。カメラはターゲットを監視し追跡して顔の写真をキャプチャします。まずデータベースと照合する必要があり、その後、写真の関連グループを取得し、アラームに基づいて直接アラームを発報します。パラメータを変更する際は、再読み込みに短時間を要します。



グループ名：グループ名を編集および修正し、アラームが送信される際に特定のグループ名が表示されます。

有効：アラームを有効にするためのスイッチ。

ポリシー：アラームポリシー、最初の**3**グループは変更できません。他のグループは許可または拒否としてカスタマイズできます。

類似度：顔認識中、類似度が設定値を超えるとアラームがトリガーされます。

アラーム：グループアラーム設定をオンにします。

アラームスケジュール：グループアラームの送信メール、アラーム出力、**FTP**画像アップロード、クラウド画像の有効時間を設定します。

ラッチタイム：カメラが画像を取得し、マッチングが成功したときに**IO**アラームケーブルがアラームを続ける時間。

注意：カメラは**IO**出力機能をサポートする必要があり、作業時間は対応するスケジュールによって制御されます。

アラーム出力ラッチ時間：スイッチを設定して有効にします。

画像保存：顔のスナップショットを**SD**カードに保存するためのスイッチ。

この設定は有効によって制御されません。

背景を保存：顔のスナップショットを**SD**カードに保存し、同時に背景のスナップショットも保存するためのスイッチ。

この設定は有効によって制御されません。

メール送信：グループ顔認識が成功したときにメールを送信するためのスイッチ。

この設定は有効によって制御されません。

FTP画像アップロード：カメラは、認識が成功したときに関連付けられた**FTP**サーバーに画像を送信します。

注意：同時に、有効な時間はスケジュールによって制御され、**FTP**サーバーは最初に関連付ける必要があります。

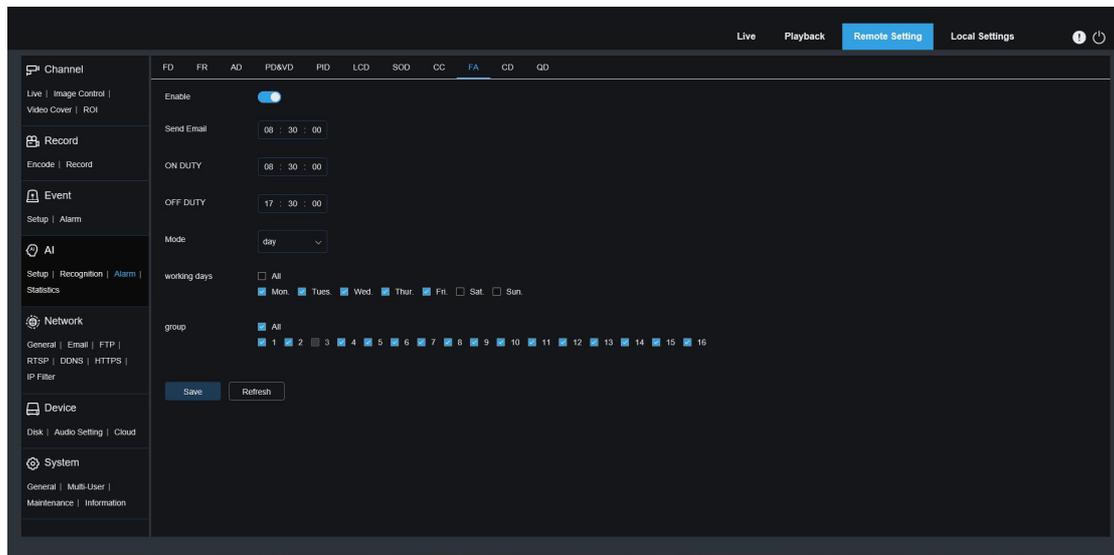
クラウド画像：カメラは、マッチングが成功した場合に関連するクラウドストレージサーバーに画像を送信します。

注意：同時に、有効時間はスケジュールによって制御され、クラウドストレージサーバーは最初に関連付ける必要があります。

8.7.3.3 顔出席

顔出席機能により、カメラは指定された時間に人間の顔の状況に応じてSDカードに保存された異なるグループ（ストレンジャーグループを除く）を取得できます。

出席記録は、キャプチャされた記録に基づいて生成され、関連するメールボックスに送信されることができます。



有効：FASend Emailによって出席記録を自動的に生成するために切り替えます。FAチェックインの時間を送信します。ファームウェアは、一定の間隔で一度取得します。取得時間が設定された時間よりも長い場合、出席記録が自動的に生成され、メールに送信されます。

注意：出席記録がない場合、メールは送信されません。

出勤中：出席記録を生成するための出勤の基準時間。

オフ・ダティ：出勤記録を生成するためのオフ・ダティの基準時間。

モード：出勤記録を生成し送信するための時間、3つのモードがあります。日：前日の出勤記録を送信します。

週：水曜日に設定されている場合、先週の水曜日から今週の火曜日までの出勤記録が水曜日に送信されます。

月：毎月15日に設定された場合、先月の15日から今月の15日までの出席記録が設定された時間に送信されます。

営業日：出席記録を生成するための基本的な営業日数。 グ

ループ：出席記録を生成する際にグループが必要です。

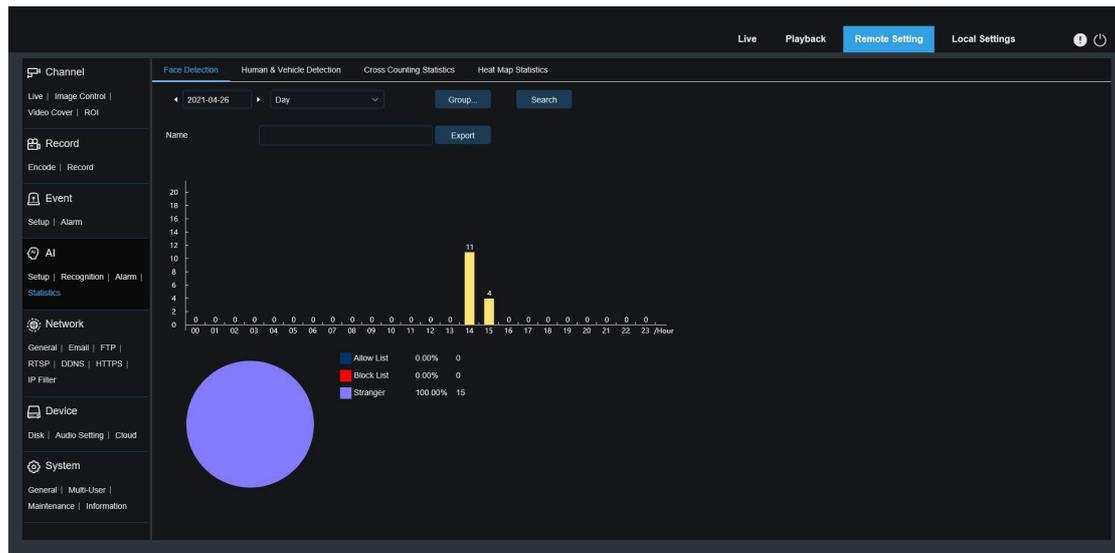
注意：ストレンジャーグループはこの機能をサポートしていないため、グループ3はデフォルトでグレースアウトされています。

8.7.4 統計

これはAIデータ統計分析機能です。

8.7.4.1 顔検出

検索設定に従って、カメラは顔検出によってSDカードに保存された顔データを検索します。FDデータ統計のインターフェースは以下の図に示されています。



時間：検索モードの参照時間です。

検索モード：日、週、月、四半期、年の5つの時間モードをサポートしています。グループ：統計を検索する際に取得するグループ。

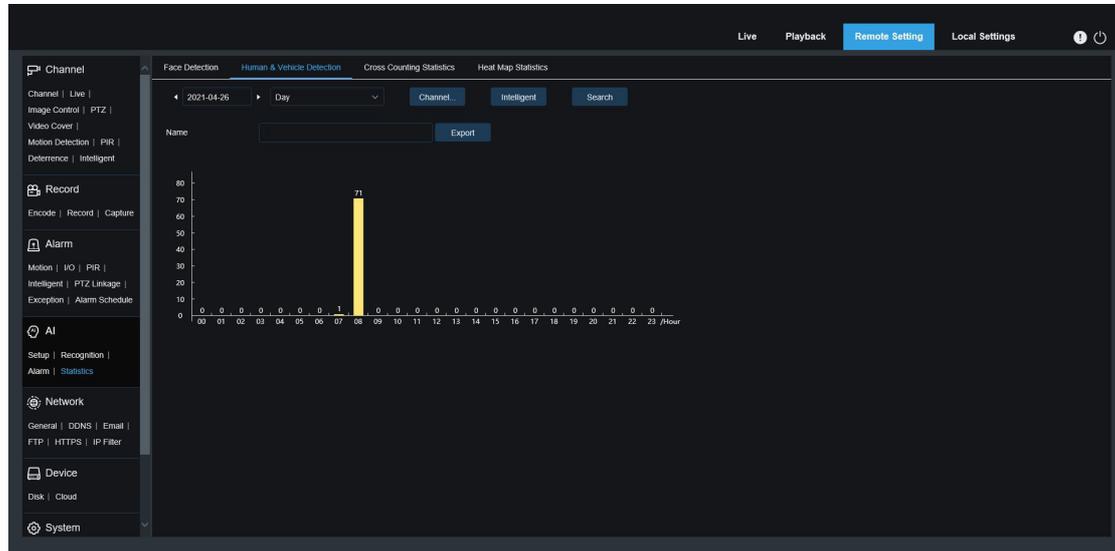
再検索：検索設定に従ってデータを再度検索します。

エクスポート：エクスポートファイル名を追加する必要があり、検索データをExcelファイルとしてエクスポートします。

表示エリア：下にチャート形式で検索結果を表示します。

8.7.4.2 人間と車両の検出

人間と車両のデータ統計には、PD&VD、PID、LCDアラームが含まれます。人間と車両のデータ統計のインターフェースは以下のようになります。



時間：検索モードの参照時間です。

検索モード：日、週、月、四半期、年の5つの時間範囲をサポートしています。インテリジェ

ント：スナップショットをキャプチャする際にマークの種類に基づいて検索します

。スナップショットの種類は6つあります：PID[人間]、PID[車両]、LCD[人間]、LCD[車両]、人間、車両。

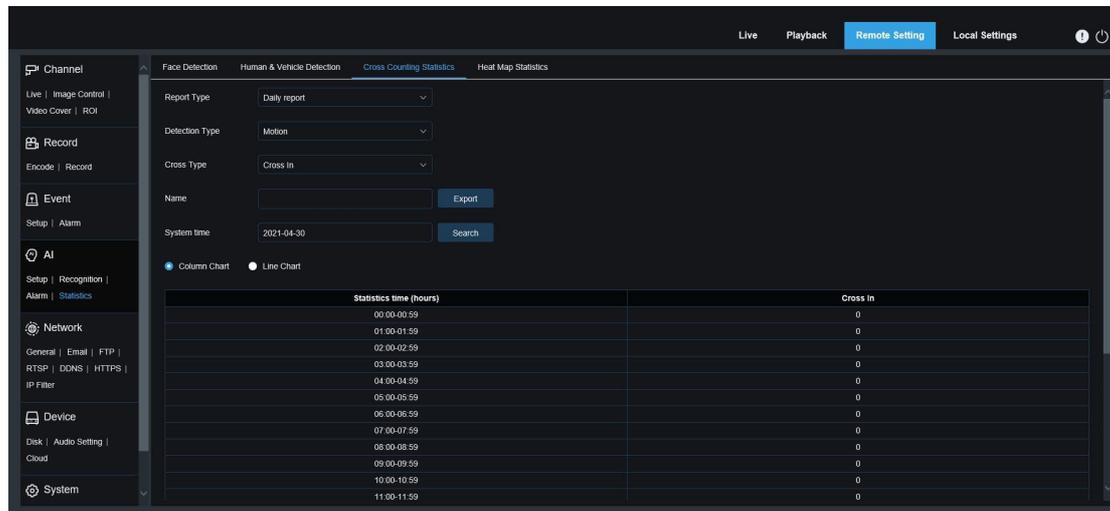
再検索：検索設定に従ってデータを再度検索します。

エクスポート：エクスポートファイル名を追加する必要があり、検索データをExcelファイルとしてエクスポートします。

表示エリア：下にチャート形式で検索結果を表示します。

8.7.4.3 クロスカウント統計

クロスカウント統計のインターフェースは以下のように示されています。



レポートタイプ：データ検索は、日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートの4つの時間範囲をサポートしています。

検出タイプ：対応するアラームタイプを設定します。アラームが動体によってトリガーされたデータの場合、他のアラームタイプ（例えば、人物や車両）では検索できません

o

クロスタイプ：ラインを越える統計手法に基づいてデータを検索します。2つのタイプがあります：クロスインとクロスアウト。

エクスポート：エクスポートファイル名を追加する必要があり、検索データをExcelファイルとしてエクスポートします。

システム時間：選択したレポートタイプの基準時間。

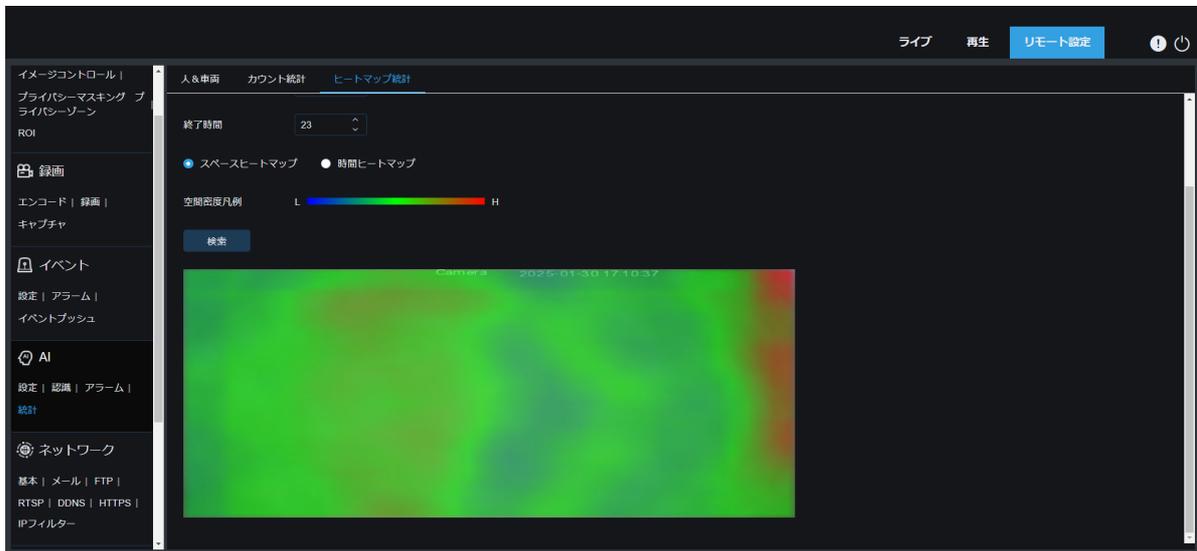
モード：データを棒グラフまたは折れ線グラフとして表示することを選択します。

表示エリア：現在の検索結果をグラフの形式で表示します。

再検索：検索設定に従ってデータを再度検索します。

8.7.4.4 ヒートマップ統計

ヒートマップ機能は、監視エリアの変化を動きに似た方法で記録することです。ヒートマップ統計は、SDに記録されたデータを画像形式で表示します。インターフェースは以下の図に示されています。



レポートタイプ：データ検索は、日次レポート、週次レポート、月次レポート、年次レポートの4つの時間範囲をサポートしています。

日付：データ検索が参照する日付。

開始時刻：日次レポートが設定されている場合のみ表示されます。検索が開始する特定の時刻を設定します。

終了時刻：日次レポートが設定されている場合のみ表示されます。検索が終了する特定の時刻を設定します。

モード：検索時のデータの表示方法を設定します。表示方法はグラフと表の2つがあります。

表示エリア：監視エリアの変化の頻度をグラフの形式で表示し、異なる時間帯における監視エリアの変化の頻度を表の形式で表示します。

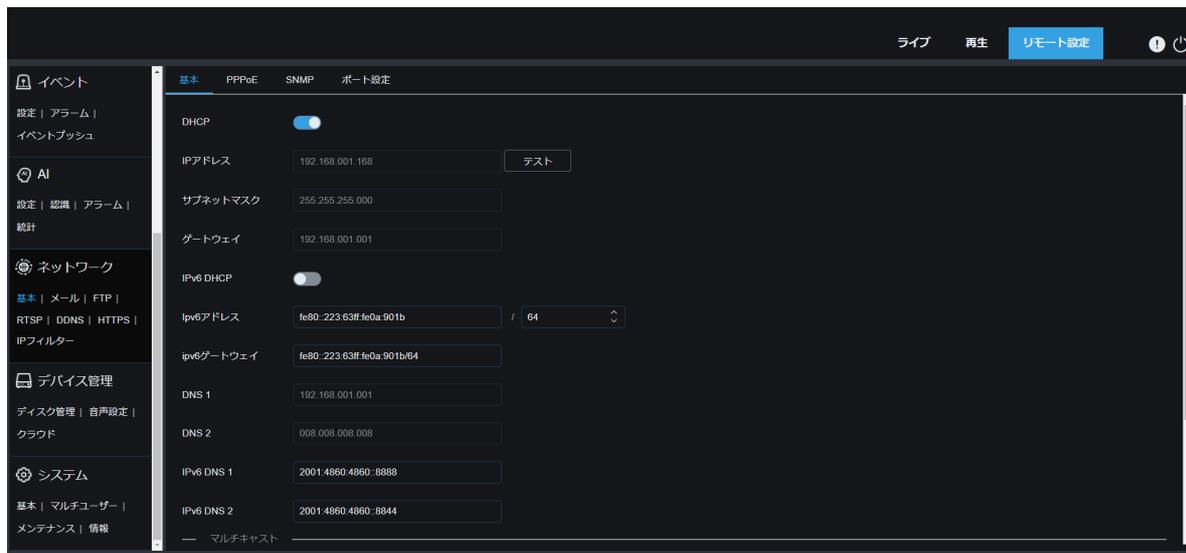
検索：設定に従ってデータを検索します。

8. ネットワーク

このメニューでは、PPPoE、DHCP、SNMPなどのネットワークパラメータを設定できます。最も一般的なタイプはDHCPです。ほとんどの場合、ネットワークタイプはDHCPですが、手動で静的IPを設定しない限り、DHCPが使用されます。ネットワークに接続するためにユーザー名とパスワードを認証する必要がある場合は、PPPoEを選択してください。

1. 一般

1. 一般



DHCPを使用できるルーターに接続する場合は、DHCPボックスにチェックを入れてください。ルーターは、手動で以下のネットワークパラメータを設定しない限り、カメラにすべてのネットワークパラメータを自動的に割り当てます：

IPアドレス：IPアドレスは、ネットワーク内のIPCの識別子です。0から255の間の数字の4つのグループで構成され、ピリオドで区切られています。例えば、"192.168.001.100"。

サブネットマスク：ネットワーク内で使用できるIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスがあなたの住んでいる通りのようなものであれば、サブネットマスクはコミュニティのようなものです。サブネットアドレスは、4つの数字のセットで構成されており、ピリオドで区切られています。例えば「255.255.000.000」です。

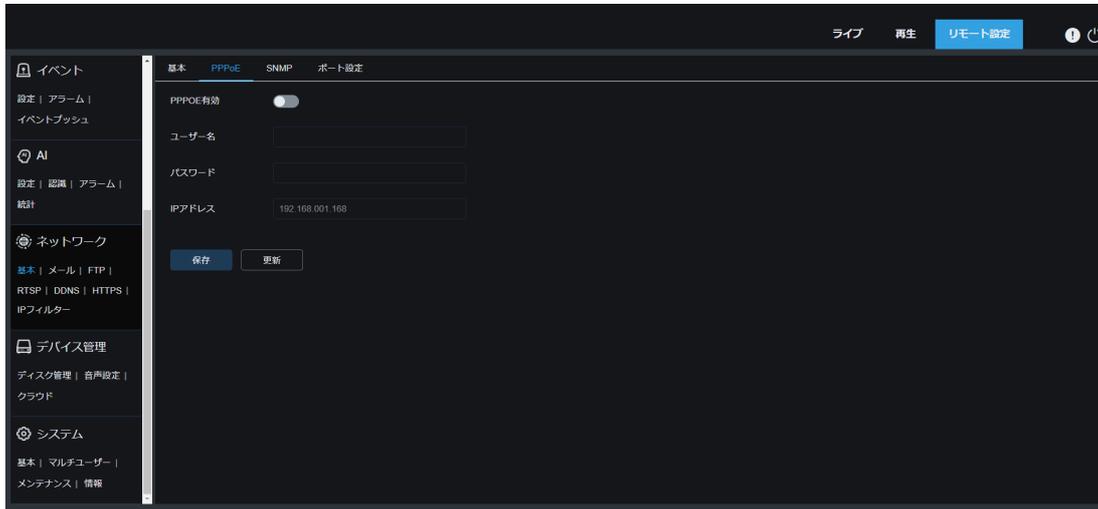
ゲートウェイ：このアドレスはIPCがネットワークにアクセスすることを可能にします。ゲートウェイアドレスの形式はIPアドレスと同じです。例えば「192.168.001.001」です。

DNS1/DNS2：DNS1はプライマリDNSサーバーで、DNS2はバックアップDNSサーバーです。通常、DNS1サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

メインストリーム：確認後、マルチキャスト用にメインストリームを使用できます。

マルチキャストアドレス：マルチキャストアドレスを設定します。

8.8.1.2 PPPoE



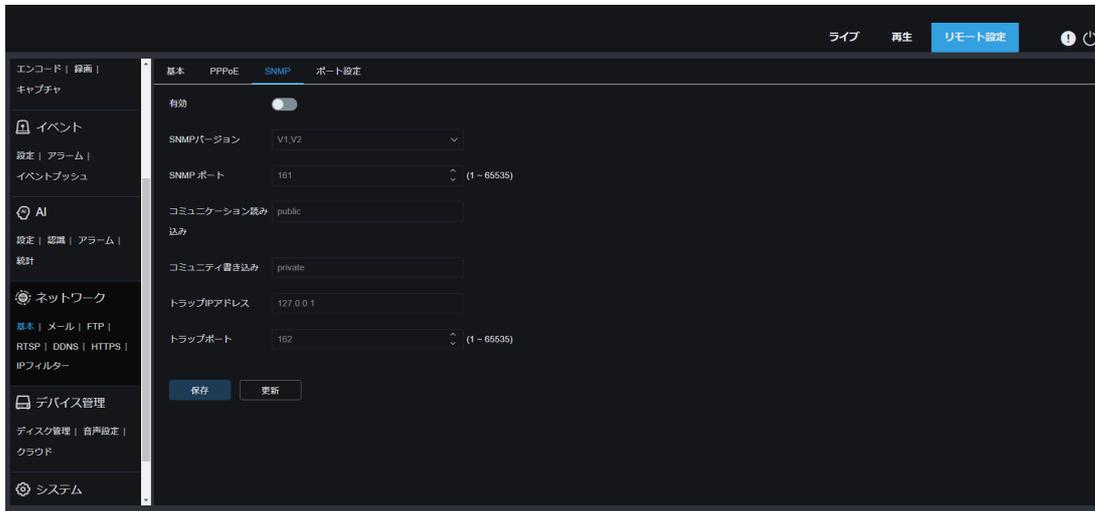
これは、DSLモデムを介してネットワークにより直接接続できるIPCを可能にする高度なプロトコルです。

「PPPOEを有効にする」ボックスにチェックを入れ、PPPoEのユーザー名とパスワードを入力します。

「適用」をクリックして保存し、PPPoE設定を有効にするためにシステムが再起動します。

8.8.1.3 SNMP

シンプルネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、標準的なアプリケーション層プロトコルであり、IPネットワーク内のネットワークノード (サーバー、ワークステーション、ルーター、スイッチ、ハブなど) を管理するために特別に設計されています。



有効：SNMPを有効または無効にします。

SNMPバージョン：SNMPサーバーのバージョンを設定します。V1、V2、V1、V2、およびV3がオプションです。

SNMPポート：SNMPサーバーのポートを設定します。

読みコミュニティ：SNMPサーバーの読みコミュニティ値を設定します。

書きコミュニティ：SNMPサーバーの書きコミュニティ値を設定します。ト

ラップIPアドレス：SNMPサーバーのトラップIPアドレスを設定します。

トラップポート：SNMPサーバーのトラップポートを設定します。

8.8.1.4 ポート設定



ウェブポート: これは、IPCにリモートでログインするために使用するポートです (例えば、ウェブクライアントを使用する場合)。他のアプリケーションがすでにポート80を使用している場合は、変更してください。

クライアントポート: これは、IPCが情報を送信するために使用するポートです (例えば、モバイルアプリケーションを使用する場合)。他のアプリケーションがデフォルトのポート9000をすでに使用している場合は、変更してください。

RTSPポート: デフォルト値は554です。他のアプリケーションがすでにデフォルトポート554を使用している場合は、変更してください。

HTTPS: これはセキュリティのためのHTTPチャンネルです。HTTPに基づいて、送信プロセスのセキュリティは、送信の暗号化と身元認証を通じて保証されます。

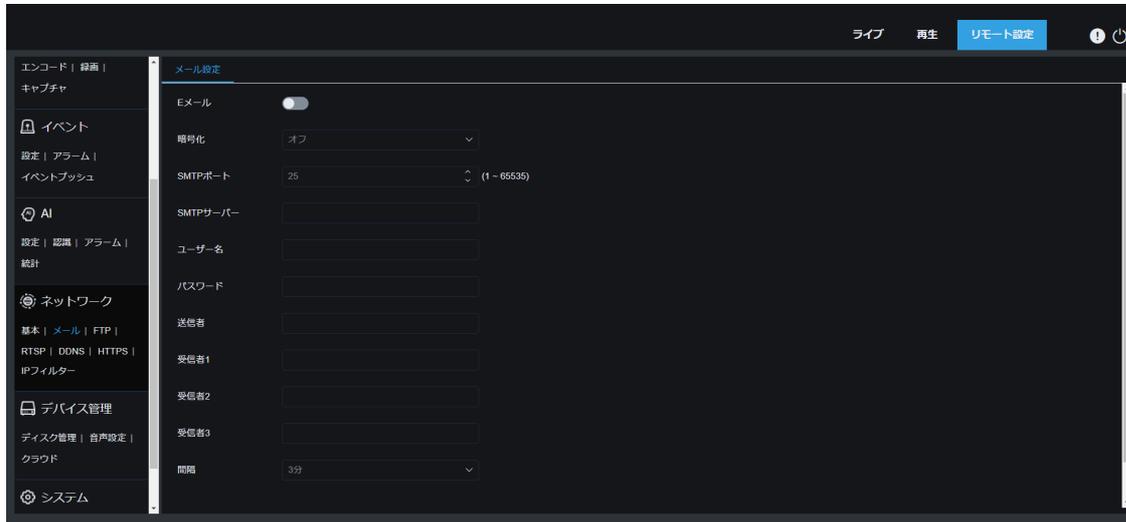
UPnP: リモートでデバイスにログインするためにWebクライアントを使用したい場合は、ルーターでポートフォワーディングを完了する必要があります。ルーターがUPnPをサポートしている場合は、このオプションを有効にしてください。この場合、ルーターでポートフォワーディングを手動で設定する必要はありません。ルーターがUPnPをサポートしていない場合は、ルーターでポートフォワーディングを手動で完了してください。

マルチキャストポート: マルチキャストポートを設定できます。

P2Pスイッチ: P2Pスイッチ、オフにするとP2Pは機能しません。

8.8.2 メール設定

このメニューでは、メール設定を構成できます。アラームがトリガーされたときやハードドライブが満杯になったときに通知を受け取りたい場合は、これらの設定を完了してください。



メール: 有効にするにはチェックしてください

暗号化: メールサーバーがSSLまたはTLS認証を必要とする場合は、有効にしてください。わからない場合は「自動」に設定してください。

SMTPポート: メールサーバーのSMTPポートを入力してください。

SMTPサーバー: メールSMTPサーバーアドレスを入力してください。

ユーザー名: あなたのメールアドレスを入力してください

パスワード: あなたのメールパスワードを入力してください

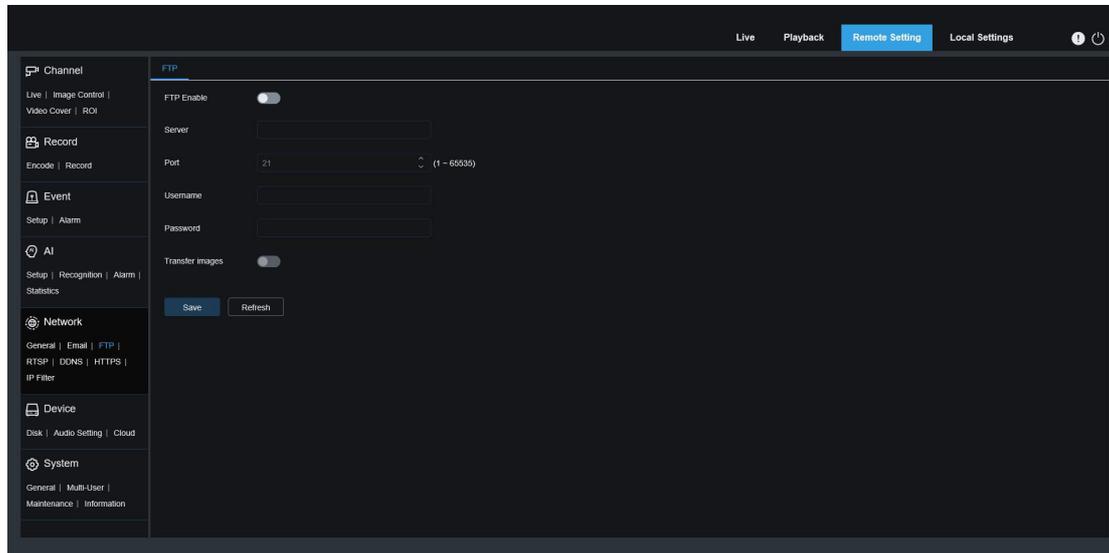
受信者 1~3: IPCからのイベント通知を受け取るためのメールアドレスを入力してください。

間隔: IPC通知メールの間隔を設定してください。

すべての設定が正しいことを確認するには、「テストメール」をクリックしてください。メールがあなたのメールボックスに送信されます。テストメールを受信した場合、構成パラメータが正しいことを示しています。

8.8.3 FTPサーバー設定

このメニューを通じて、IPCからFTPにアップロードされた写真や動画を表示するためにFTPサーバーを有効にすることができます。



FTP有効: FTP機能を有効にするにはクリックしてください。

サーバー: FTPサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を入力してください。

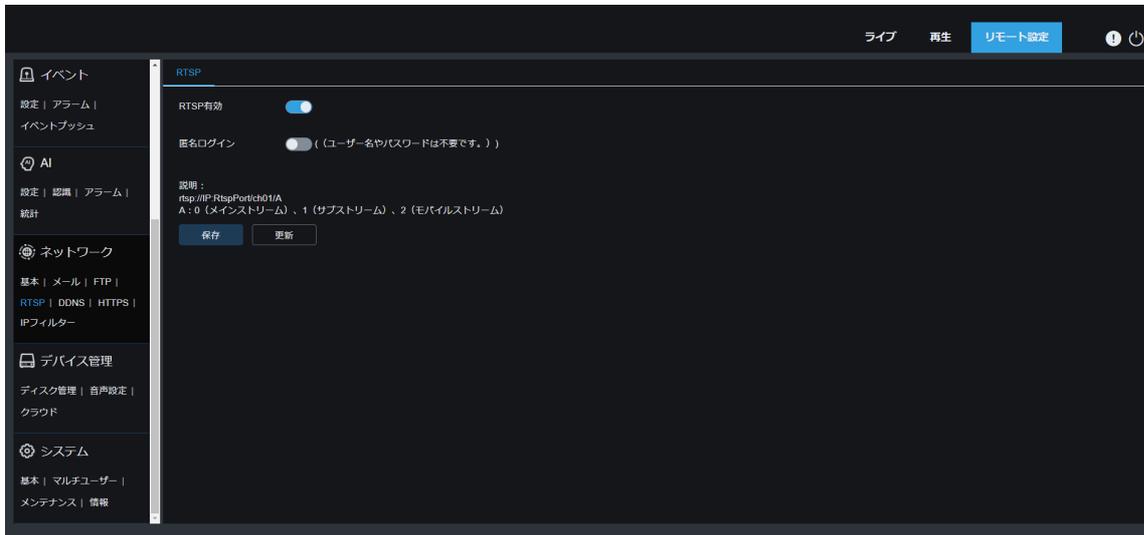
ポート: FTPポートを入力してください。

名前/パスワード: FTPサーバーのユーザー名/パスワードを入力してください。

画像転送: チェックを入れると、アラーム画像がFTPサーバーにアップロードされます。そうでない場合は、テキスト警告のみがアップロードされます。

8.8.4 RTSP設定

RTSP (リアルタイムストリーミングプロトコル)、RFC2326は、TCP/IPプロトコルシステムにおけるアプリケーション層プロトコルです。このプロトコルは、1対多のアプリケーションがIPネットワークを通じてマルチメディアデータを効果的に送信する方法を定義しています。これにより、ビデオプレーヤーを通じてリアルタイムの画像を表示できます。

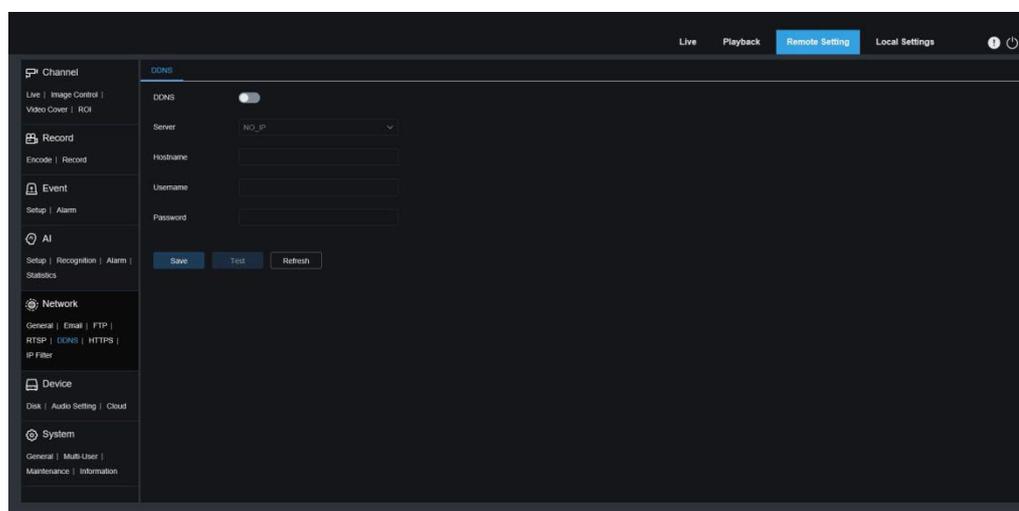


RTSPの有効化：オン/オフを切り替えます。このプロトコルは、オンにした後のみ使用できます。

匿名ログイン：匿名ログイン。これを有効にすると、認証なしでプロトコルを使用できます。

8.8.5 DDNS設定

このメニューではDDNSを設定できます。DDNSは、IPCとのリモート接続を簡素化するために静的アドレスを提供します。DDNSを使用するには、まずDDNSサービスプロバイダーのウェブページでアカウントを作成する必要があります。



DDNS : DDNSを有効にするにはチェックを入れてください。

サーバー: お好みのDDNSサーバーを選択してください (DDNS_3322、DYNDNS、NO_IP、一部はCHANGEIP、DNSEXITをサポートしています)。

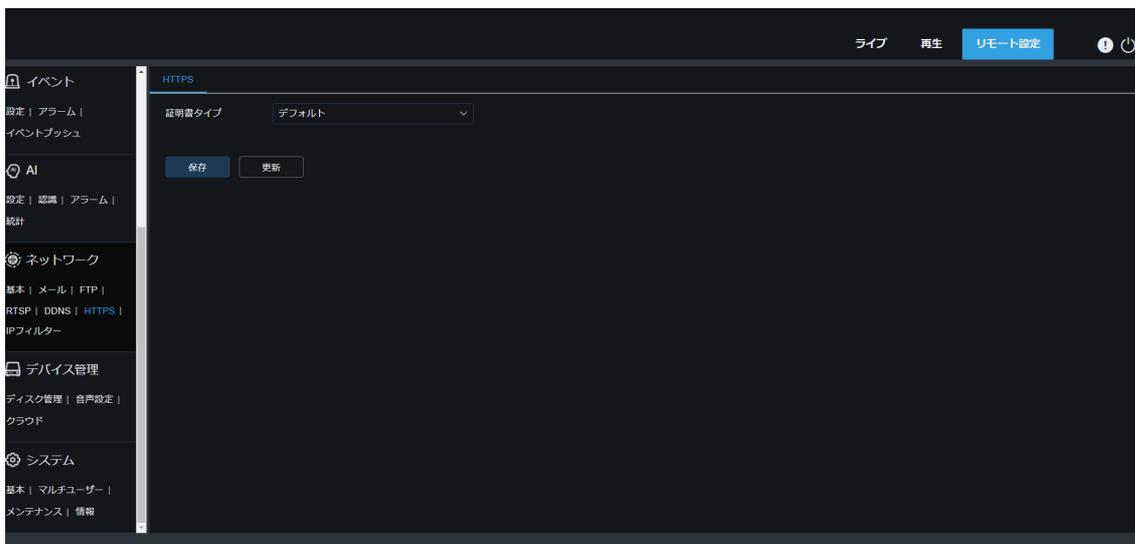
ホスト名: DDNSサービスプロバイダーのウェブページで作成したドメイン名を入力してください。これは、PCからIPCにリモート接続する際にURLボックスに入力するアドレスです。

ユーザー/パスワード: 作成したアカウントのユーザー名とパスワードを入力してください。

すべてのパラメーターを入力した後、「DDNSテスト」をクリックしてDDNSをテストします。テスト結果が「ネットワーク到達不能またはDNSエラー」の場合は、ネットワークが正常であるか、DDNS情報が正しいかを確認してください。

8.8.6 HTTPS設定

カメラはこのメニューで設定できるHTTPSプロトコルを介して接続できます。



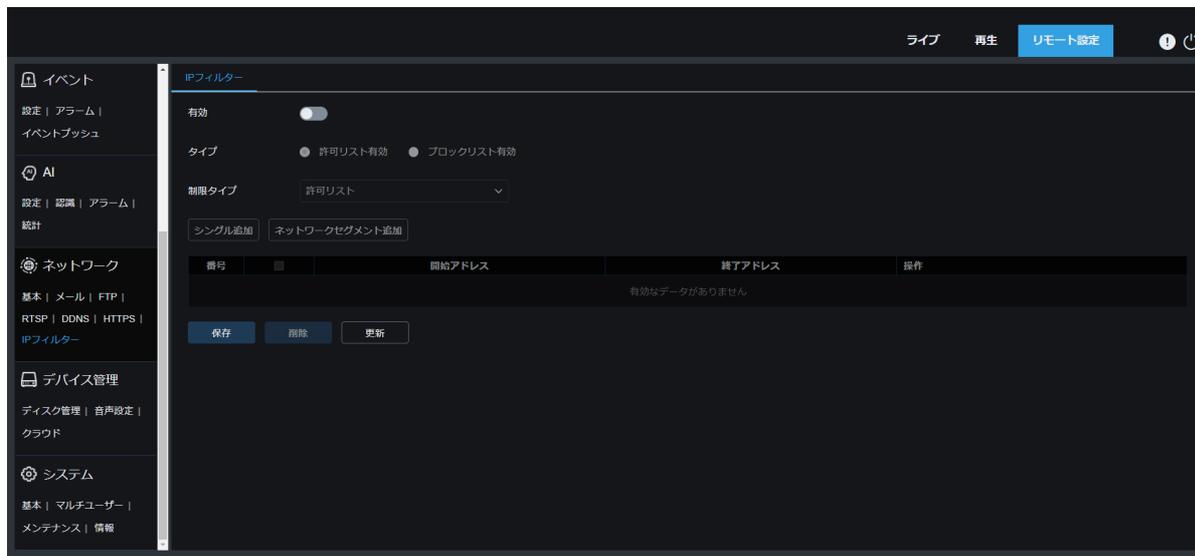
証明書の種類 : 認証タイプ。デフォルトとカスタムの2種類があります。カスタムでは、自分の証明書を使用してカメラに接続できます。

証明書 : カスタムタイプの下では、カスタム証明書を選択する必要があります。

キー : カスタムタイプの下では、カスタムキーファイルを選択する必要があります。

8.8.7 IPフィルター

この機能はカメラの許可リストとブロックリストを設定できます。



有効：フィルター機能を有効または無効にします。有効にすると、許可リストとブロックリストはオプションになります。

制限タイプ：設定するリスト（許可リストとブロックリスト）を選択します。

開始アドレス：開始アドレスを入力します。

終了アドレス：終了アドレスを入力してください。

9. カメラ管理

1. ディスク管理

このメニューでは、**マイクロSDカード**を確認および設定することができます。フォーマットは、初回アクセス時または新しい**マイクロSDカード**に交換する際のみ必要です。



ハードディスクのフォーマット：フォーマットするTFカードを選択し、次に「ハードディスクのフォーマット」をクリックします。

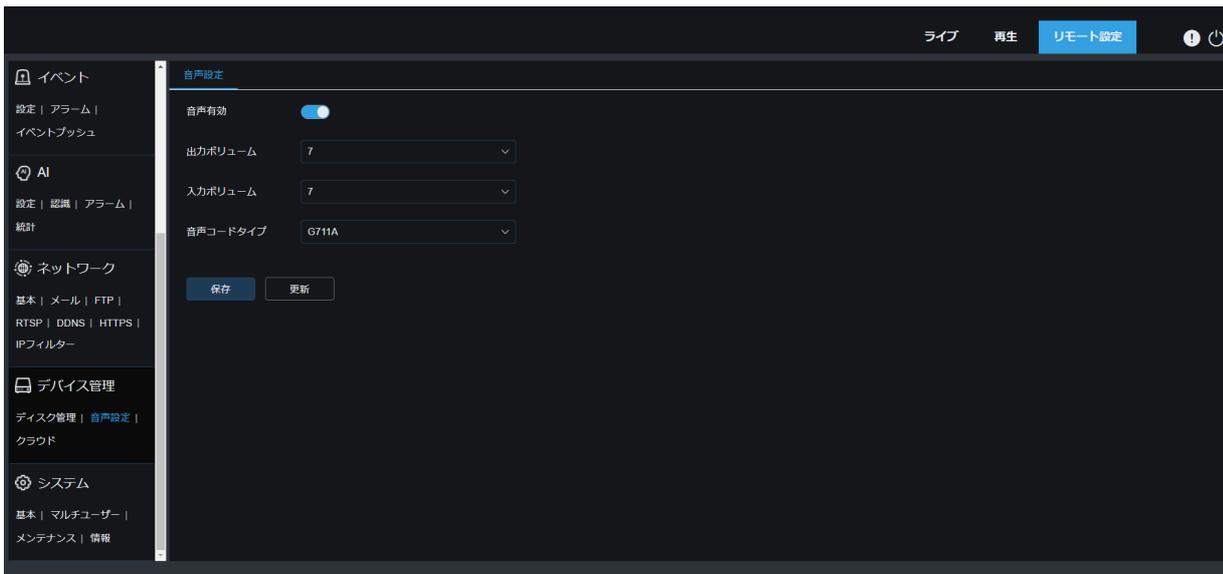
フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックする必要があります。

上書き：マイクロSDカードが満容量のときは、このオプションを使用してマイクロSDカードの古い記録を上書きします。

TFカードが満杯の時、自動的に初期データが上書きされるように「自動」を選択してください。古い動画が上書きされるのを望まない場合は、「オフ」を選択してください。この機能が無効になっている場合は、TFカードの状態を定期的に確認し、満杯でないことを確認してください。

8.9.2 オーディオ設定

このメニューでは、カメラの音量を設定できます。



音声を有効にする：音声のオン/オフを切り替えます。

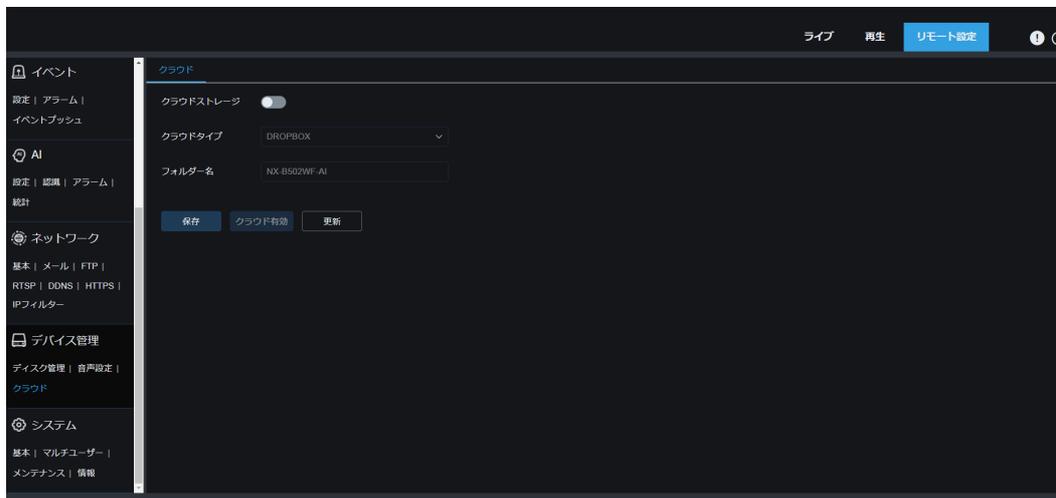
出力音量：出力音声の音量を設定します。

入力音声の音量を設定します。

オーディオコーディングタイプ：オーディオデコーディングタイプを設定します。G711AおよびG711Uがサポートされています。

8.9.3 クラウド

カメラは、Dropboxを通じてスナップショットやビデオをクラウドサービスにアップロードできます。Dropboxは、写真を簡単に保存および共有できる無料のサービスです。



クラウドストレージ機能を有効にする前に、メールのユーザー名とパスワードでDropboxアカウントを作成することをお勧めします。作成後、www.dropbox.comにログインし、メールアドレスとパスワードを入力し、利用規約に同意した後、ログインボタンをクリックします。

クラウドストレージ：この機能を有効にするにはクリックしてください。クラウド

タイプ：DropboxやGoogle Driveなど、クラウドストレージのタイプを選択します。

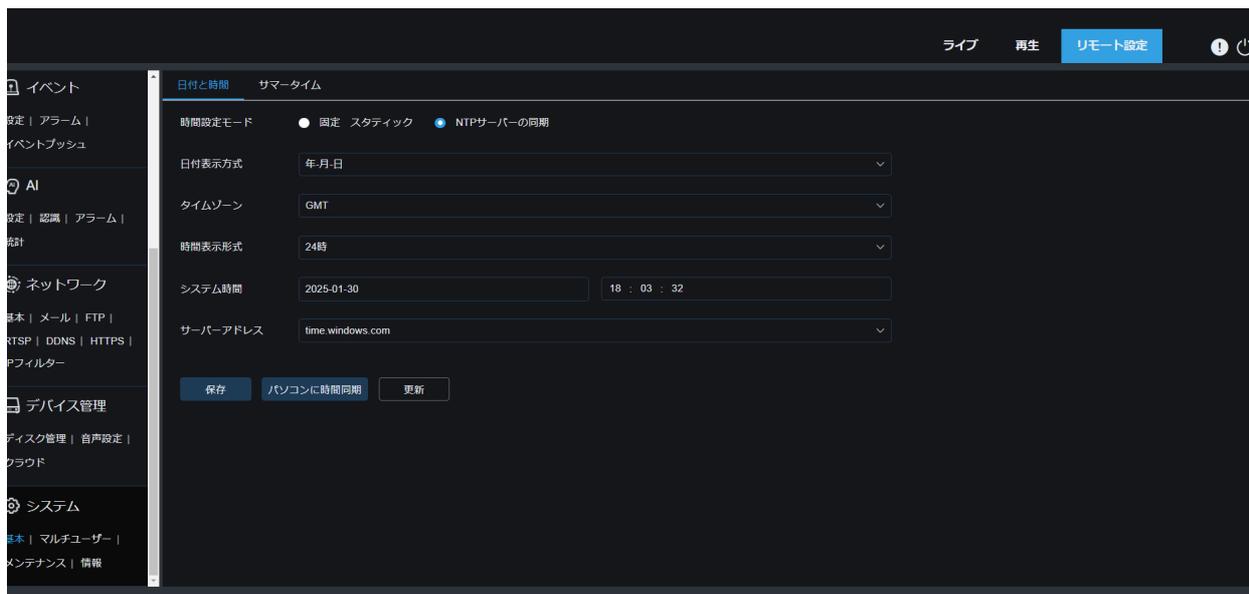
ドライブ名：IPCによってクラウドストレージに作成されたフォルダーの名前を入力します。クラウドを有効にする：この機能を有効にするにはクリックしてください。しばらくすると、ウェブページはDropboxの関連リンクに自動的にジャンプします。正しいユーザー名とパスワードを入力して関連付けを行ってください。

10. システム

システム情報を変更するために使用されます。例えば、日付、時間、地域、パスワード、権限などです。

1. 一般

1. 日付と時刻



時間設定モード：時間モードには、静的とNTP同期のオプションがあります。静的時間は自分で設定する必要がありますが、NTP同期はネットワークを介して時間のキャリブレーションを行います。

日付形式：日付形式を設定します。

タイムゾーン：あなたの地域または都市に関連するタイムゾーンを選択します。

時間形式：好みの時間形式を選択します。

システム時間：日付と時間を変更するには、ボックスをクリックします。

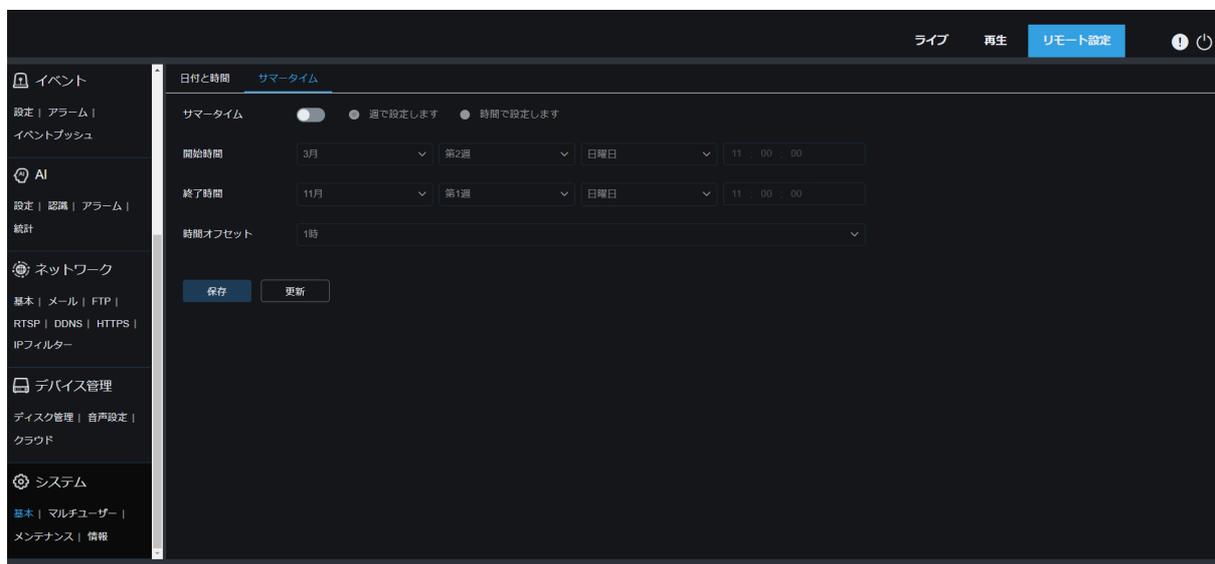
コンピュータの時間を同期する：コンピュータの時間に合わせて時間を同期します。

NTP同期が選択されている場合、この時点で手動で時間を設定することはできません。

サーバーアドレス：自動時間補正のウェブサイトを選択できます。

8.10.1.2 夏時間 (DST)

この機能では、特定のタイムゾーンまたは地域でDSTを増やすことを選択できます。



夏時間：あなたのタイムゾーンが夏時間を使用している場合は、このオプションを有効にしてください。

週ごとに設定: 夏時間の開始と終了のための月、特定の週、時間を選択します。例えば、月の最初の日曜日の午前2時。

日付で設定: 夏時間の開始日と終了日、時間を選択します。

開始時間/ 終了時間: 夏時間の開始時間と終了時間を設定します。

時間オフセット: あなたのタイムゾーンで夏時間が増加する時間を選択してください。これは協定世界時 (UTC) と現地時間の差です。

8.10.2 マルチユーザー管理

このメニューでは、ユーザー名、パスワード、およびユーザー権限を設定できます。システムは次のユーザータイプをサポートしています:

ADMIN— システム管理者: 管理者はシステムを完全に構成でき、管理者パスワードやユーザーパスワードを変更し、パスワード保護を有効/無効にできます。

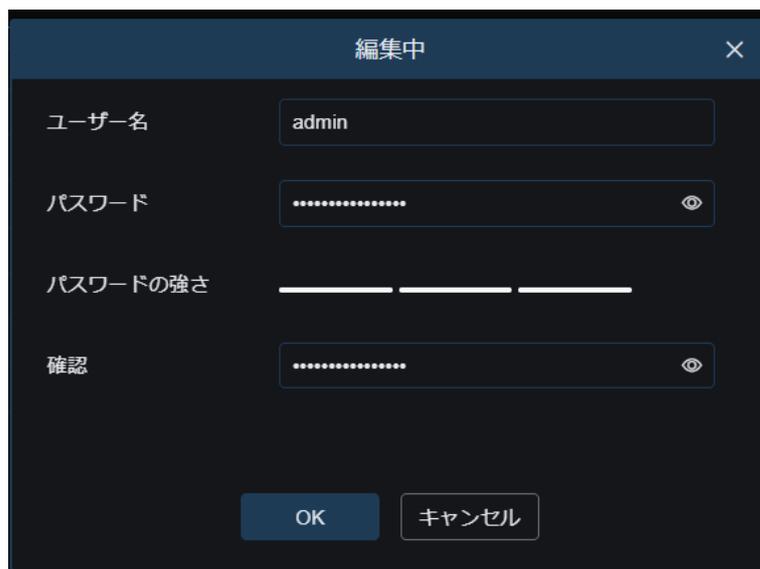
USER— 通常ユーザー: ユーザーはプレビュー、検索、再生などの機能にのみアクセスできます。異なるシステムアクセス権限を持つ複数のユーザーを設定できます。

The screenshot displays the 'マルチユーザー' (Multi-User) management page. The table below represents the data shown in the interface:

番号	ユーザー名	レベル	状態	パスワード	許可
1	admin	admin	有効	ℓ	
2	user1	user1	無効	ℓ	⊗
3	user2	user2	無効	ℓ	⊗
4	user3	user3	無効	ℓ	⊗
5	user4	user4	無効	ℓ	⊗
6	user5	user5	無効	ℓ	⊗
7	user6	user6	無効	ℓ	⊗

A '更新' (Refresh) button is located below the table. The sidebar on the left includes categories like 'イベント', 'AI', 'ネットワーク', 'デバイス管理', and 'システム', with 'マルチユーザー' selected under the 'システム' category.

管理者またはユーザーのパスワードを変更するには、「編集」アイコンをクリックしてください。パスワードは8文字以上で、数字、文字、記号で構成されている必要があります。新しいパスワードを再度入力して確認してください。新しいパスワードを保存すると、システムが認証のために古いパスワードの入力を求めます。

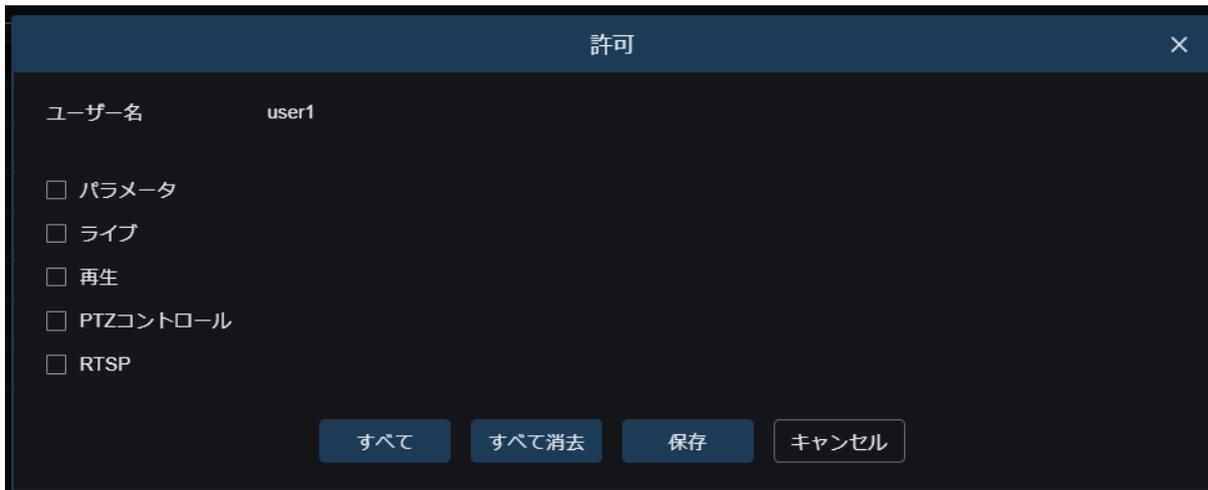


The image shows a dark-themed dialog box titled "編集" (Edit) with a close button "×" in the top right corner. The dialog contains the following fields and controls:

- ユーザー名** (Username): A text input field containing "admin".
- パスワード** (Password): A password input field with masked characters "....." and a visibility icon (eye) on the right.
- パスワードの強さ** (Password strength): A progress bar indicator showing the strength of the password.
- 確認** (Confirm): A password input field with masked characters "....." and a visibility icon (eye) on the right.

At the bottom of the dialog, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

- 1.無効化されたユーザーの中から1人を選択し、「編集」アイコンをクリックしてください。
- 2.ユーザーを有効にするには、「有効」をチェックしてください。
- 3.ユーザー名を編集するには、「ユーザー名」をクリックしてください。
- 4.必要なパスワードを入力するには、パスワードの隣のエリアをクリックしてください。
- 5.パスワードを再入力するには、確認の隣のエリアをクリックしてください。
- 6.保存をクリックします。認証のために管理者パスワードを入力する必要があります。



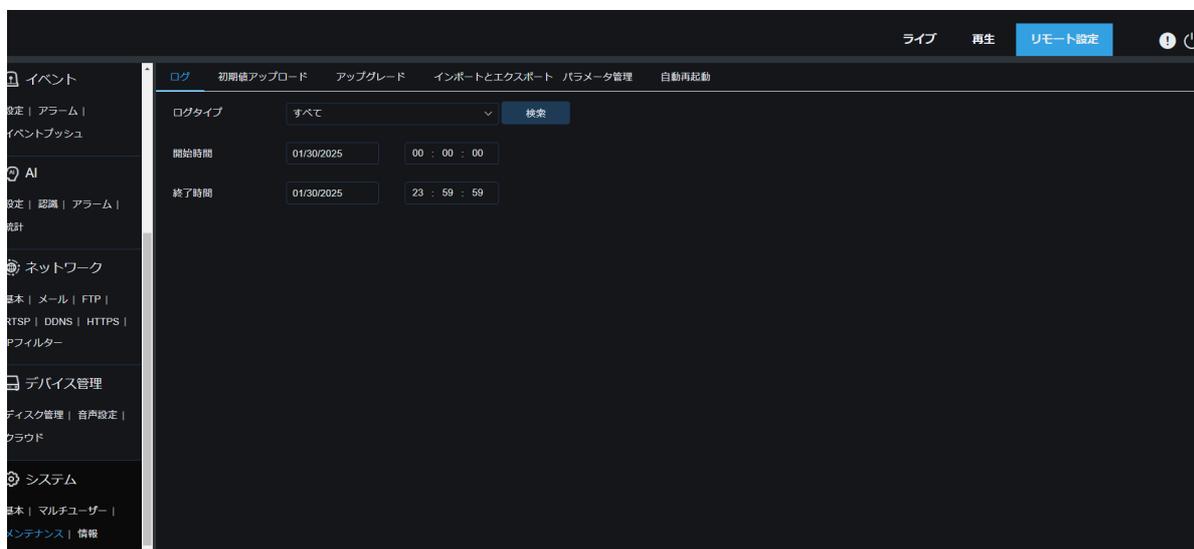
ユーザーの権限を設定し、機能に対応するボックスにチェックを入れます。すべてをクリックすると、すべてのボックスが選択されます。クリアをクリックすると、すべてのボックスがクリアされます。

3. システムメンテナンス

このメニューでは、システムログの検索と表示、工場出荷時設定の復元、システムのアップグレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、システムの自動再起動の設定ができます。

1. ログ管理

システムログには、動作アラームやシステム警告などの重要なシステムイベントが表示されます。システムログのバックアップファイルを、設定された期間内にコンピュータに簡単にインポートできます。



ログ検索とバックアップ：

1. 開始時刻の隣にあるエリアをクリックし、画面上から開始日と時刻を選択します

カレンダー

2. 終了時刻の隣のエリアをクリックし、画面上から終了日と時刻を選択します。

カレンダー。

3. ログタイプの隣のドロップダウンリストから検索したいイベントタイプを選択します。

選択した期間のシステムログ全体を表示するには、すべてを選択します。オプションのタイプは次のとおりです：

システムログ、構成ログ、アラームログ、アカウントログ、録画ログ、ストレージログ、ネットワークログ。

4. ログタイプに**ALL**が選択されている場合、そのメニューは表示されないため、マイナータイプの横にあるドロップダウンリストから検索するイベントのタイプを選択するか、すべてを選択して選択した期間のシステムログ全体を表示します。オプションのタイプは次のとおりです：

・システム：システム設定、再起動、自動再起動、アップグレード、時間設定、NTP時間調整。

・設定：IPCプレビュー制御、プライバシーゾーン設定、録画モード設定、録画計画設定、メインストリーム設定、ネットワーク設定、サブストリーム設定、メール設定、カラー設定、動体検知設定、ハードディスク設定、マルチユーザー設定、NTP設定、画像制御、モバイルストリーム設定、RTSP設定、IPフィルター設定、工場出荷時設定、オーディオ設定、ビデオ遮蔽アラーム設定、エクスポート設定およびインポート設定。

・アラーム：動体検知開始、動体検知終了、IOアラーム開始、IOアラーム終了、PID開始、PID終了、ライン侵入開始、ライン侵入終了、物体検出開始、物体検出終了、人検知&車両検知開始、人検知&車両検知終了、顔検知開始、顔検知終了、密集開始、密集終了、行列開始、行列終了、エリア侵入開始、エリア侵入終了、音声アラーム開始および音声アラーム終了。

・アカウント：ログイン、ログアウトおよびユーザー切替。

・録画：検索、再生およびバックアップ。

・ストレージ：ハードディスクをフォーマットする、ハードディスクが満杯、ハードディスクエラー。

・ネットワーク：オフライン、オンライン、ネットワークエラーおよびネットワークモードの変更。

1. 検索をクリックして検索します。

2. 選択した時間間隔からシステムログを参照してください：

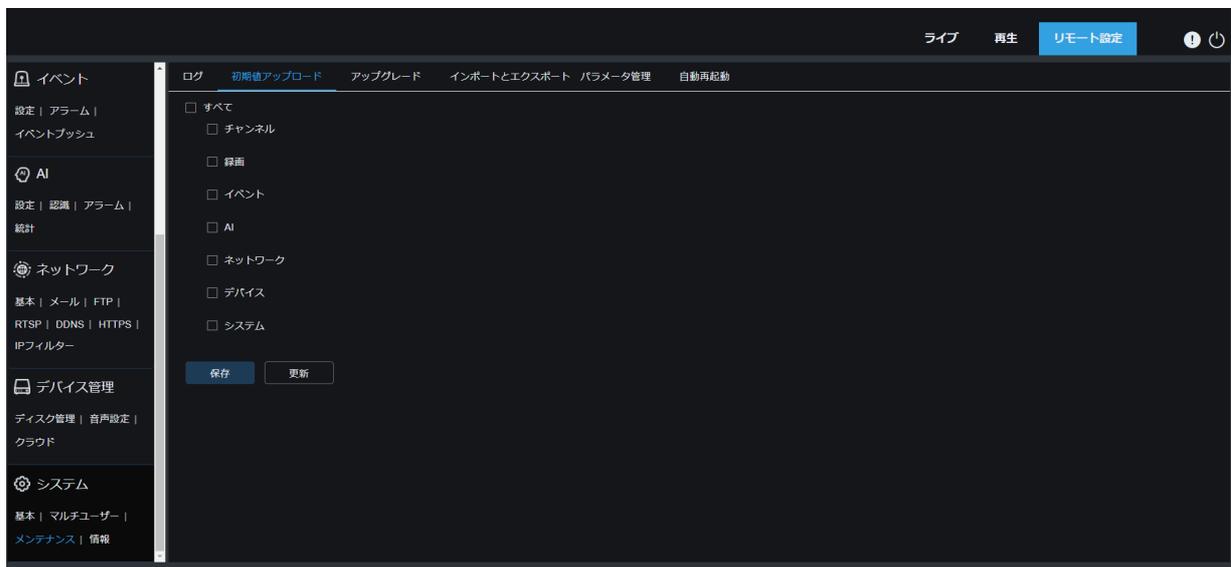
7. システムログイベントのページを切り替えるには、次のようなボタンを使用します **◀◀ / ▶▶**。

エクスポートファイル名を名前の隣のフィールドに入力します。システムログのバックアップを作成するには、エクスポートをクリックします。

8.10.3.2 工場出荷時設定の復元

カメラを工場出荷時設定にリセットします。一度にすべての設定をリセットするか、特定の設定のみをリセットすることを選択できます。

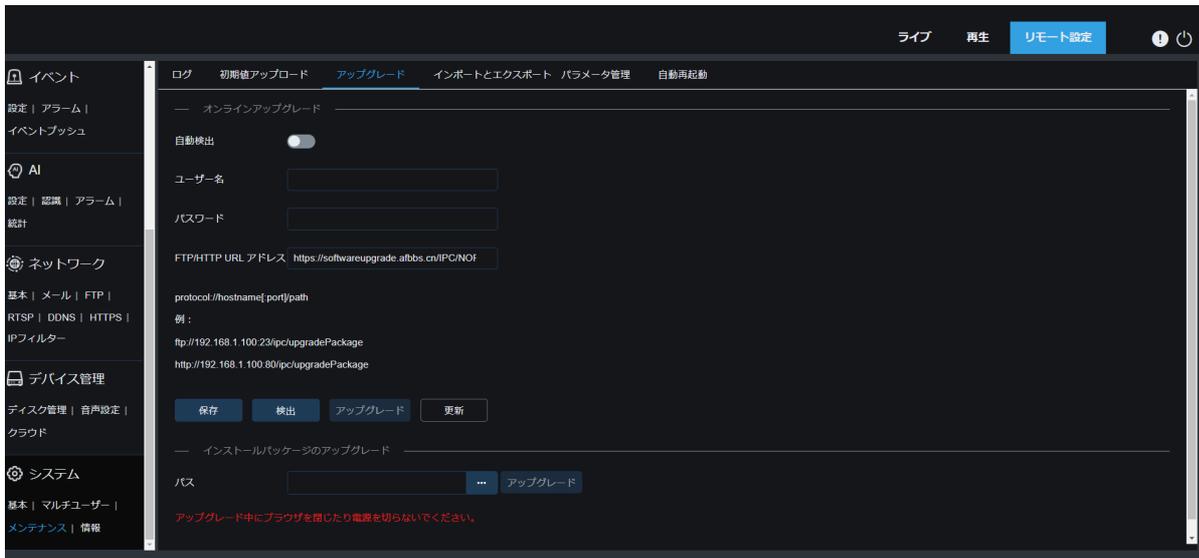
注意: デフォルト設定を復元しても、SDカードに保存されたビデオやスナップショットは削除されません。



復元するアイテムを選択するか、すべてをクリックしてすべてのアイテムを選択します。「保存」をクリックしてデフォルト設定を読み込みます。

8.10.3.3 システムアップグレード

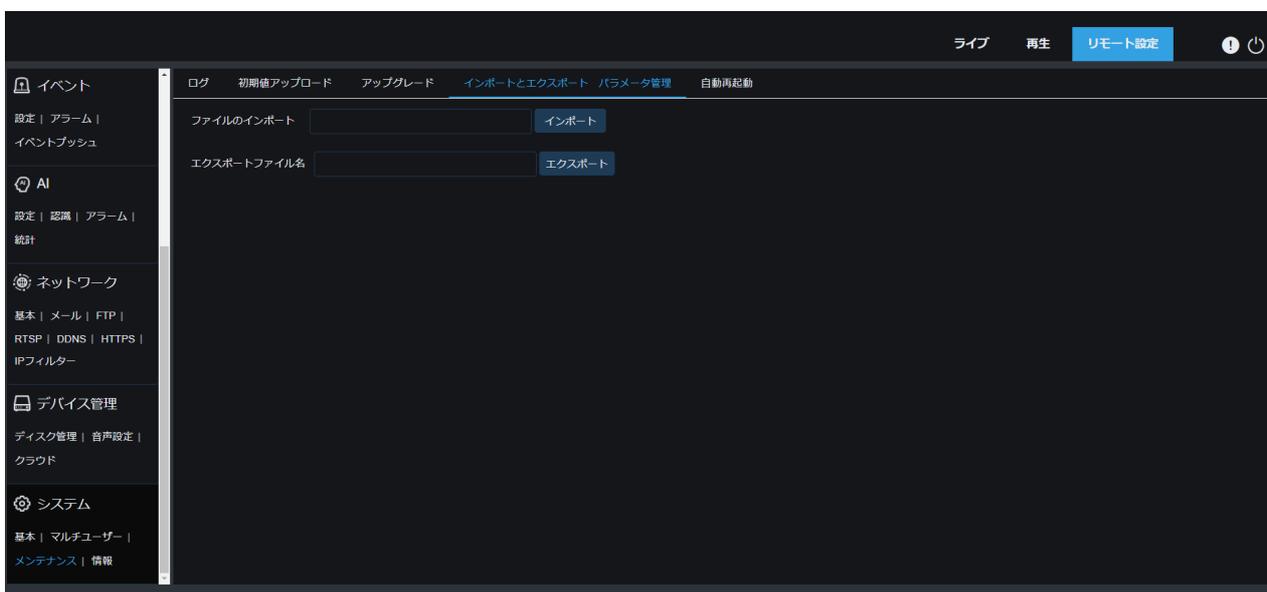
このメニューではカメラのファームウェアをアップグレードできます。



1. ファームウェアファイル (.swファイル) をコンピュータのハードディスクに置いてください。
2. 「パス」の横にある「...」をクリックし、コンピュータ内のファームウェアファイルを選択します。
アップグレードボタンをクリックして開始します。アップグレードには約5～10分かかりますので、この間はカメラの電源を切ったり、IEを閉じたりしないでください。

8.10.3.4 パラメータ管理

設定されたメインメニューのパラメータをコンピュータにエクスポートするか、コンピュータからカメラにエクスポートされた設定ファイルをインポートできます。

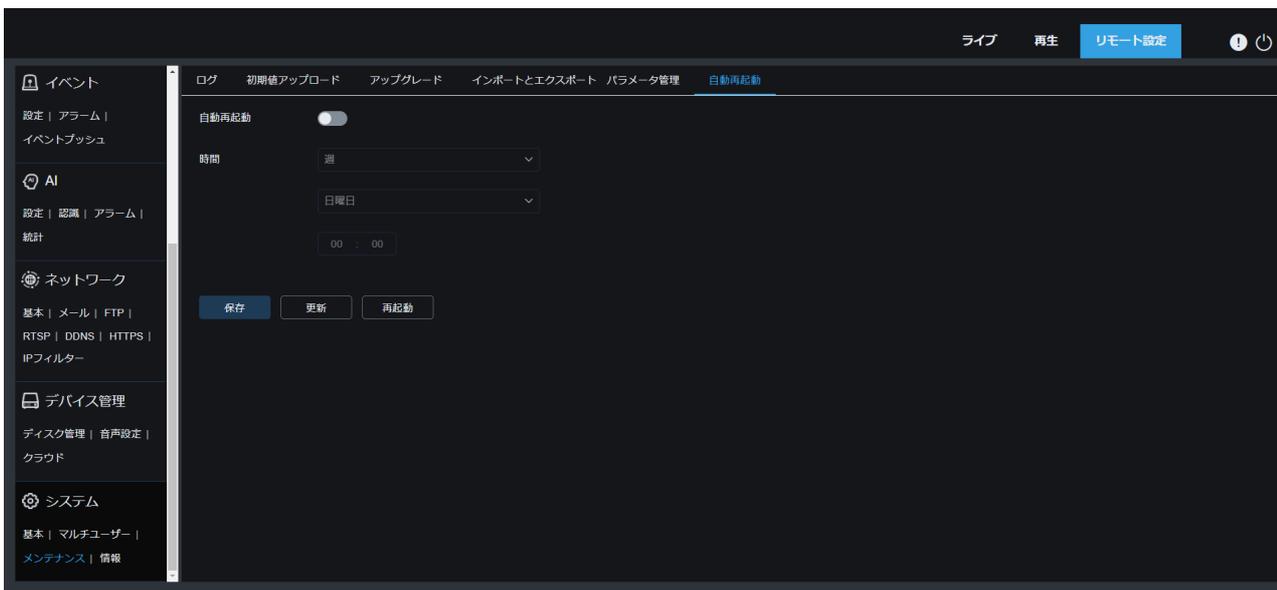


インポートファイル：ボックスをクリックすると、パスウィンドウがポップアップします。パラメータファイルを選択した後、インポートをクリックしてパラメータのインポートを開始します。

エクスポートファイル名：ボックスをクリックしてエクスポートするパラメータのファイル名を入力します。エクスポートをクリックしてパラメータをエクスポートします。

8.10.3.5 自動メンテナンス

このメニューでは、システムが定期的に自動的に再起動することを許可します。この機能は有効にしておくことをお勧めします。カメラの運用の安定性を維持することができます。

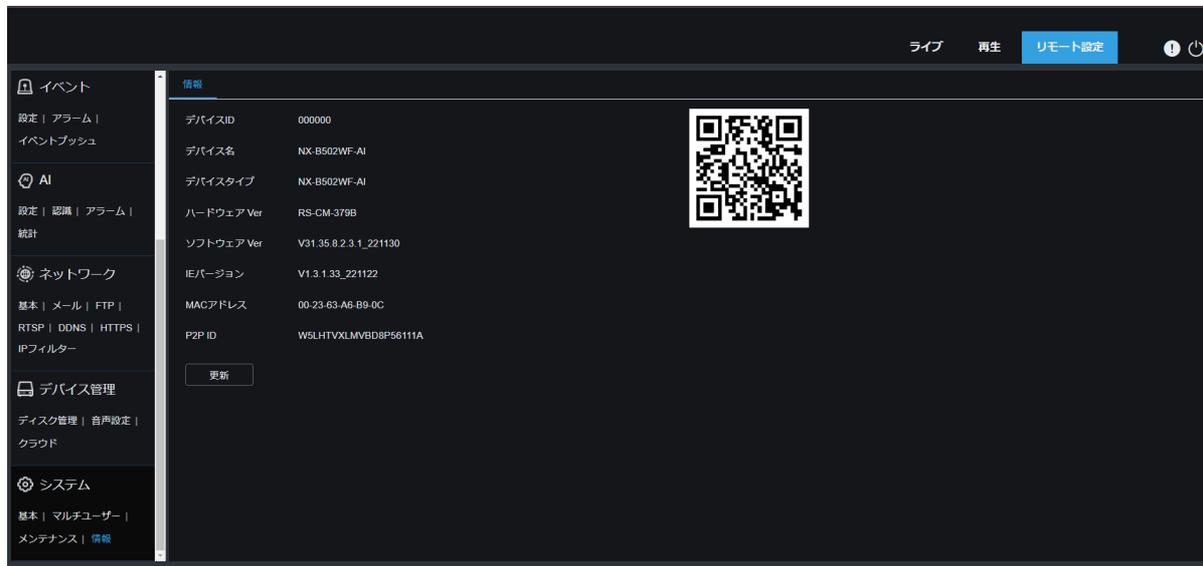


自動再起動: 有効にするにはクリックしてください

時間: IPCは日、週、または月ごとに再起動するように設定できます。

8.10.4 システム情報

このメニューでは、カメラID、モデル名、MACアドレス、ファームウェアバージョンなどのシステム情報を表示できます。



The screenshot shows a web interface for system information. On the left is a navigation menu with categories: イベント (Event), AI, ネットワーク (Network), デバイス管理 (Device Management), and システム (System). The main content area is titled '情報' (Information) and displays the following details:

デバイスID	000000
デバイス名	NX-B502WF-AI
デバイスタイプ	NX-B502WF-AI
ハードウェア Ver	RS-CM-379B
ソフトウェア Ver	V31.35.8.2.3.1_221130
IEバージョン	V1.3.1.33_221122
MACアドレス	00-23-63-A6-B9-0C
P2P ID	W5LHTVXLMVBD8P56111A

A QR code is displayed to the right of the information table. Below the table is a '更新' (Update) button. At the top right of the interface, there are buttons for 'ライブ' (Live), '再生' (Play), 'リモート設定' (Remote Settings), and a power icon.